



HIC-TRB400

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.3 版

管理番号：TEC-26MA0306-01.3

ご注意

- ▶ 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- ▶ 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ▶ 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

改版履歴

第1版	2026年03月27日	新規作成
第1.1版	2026年04月22日	User Logの注意書き追加
第1.2版	2026年05月29日	外観写真修正、各端子の説明追加、 製品仕様項目分離、Vertical Flip 注意書き追加
第1.3版	2026年06月25日	DORI 記載を Wide/Tele で分割記載に変更

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセーフティ用途*での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。
これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
お客様が、本製品をハイセーフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等 十分な配慮をお願いします。
*: 極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. はじめに.....	9
1.1. 製品概要.....	9
1.2. 特徴.....	9
1.3. 梱包物一覧.....	10
1.4. 製品外観.....	11
1.4.1 前面.....	11
1.4.2 側面.....	11
1.4.3 背面.....	12
1.4.4 底面.....	12
1.4.5 上面.....	13
1.4.6 前面.....	14
1.4.7 側面.....	14
1.4.8 背面.....	15
1.4.9 底面.....	15
1.4.10 上面.....	16
1.5. カメラの設置.....	17
1.6. 各端子について.....	19
2 設定画面へのログイン.....	20
3 メニューの切り替え方法.....	23
3.1 SetupメニューからLiveメニューへの切り替え.....	23

3.2	Live メニューから Setup メニューへの切り替え.....	23
4	基本設定	24
4.1	IP アドレスの変更.....	24
5	Setup メニュー	25
5.1	Video&Audio	25
5.1.1	Information	26
5.1.2	ビデオ.....	27
5.1.3	オーディオ.....	32
5.1.4	Output.....	34
5.2	Image	35
5.2.1	全般.....	36
5.2.2	Schedule	41
5.2.3	マスク	42
5.3	ネットワーク.....	43
5.3.1	IP & Port.....	44
5.3.2	RTSP Multicast	50
5.3.3	QoS.....	51
5.3.4	Discovery	52
5.3.5	One-way	53
5.3.6	SRT	56
5.3.7	SNMP	58
5.3.8	DDNS 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。.....	60
5.3.9	IP Filtering.....	61

5.3.10	E-メール.....	62
5.3.11	FTP	64
5.3.12	接続.....	67
5.4	イベント.....	68
5.4.1	Notification.....	69
5.4.2	User Defined.....	71
5.4.3	動作検知.....	72
5.4.4	Audio Detection	75
5.4.5	センサー.....	76
5.4.6	警報.....	78
5.4.7	Event OSD	79
5.4.8	HTTP Action.....	81
5.5	録画.....	82
5.5.1	Micro SD カード差し込み.....	83
5.5.2	全般.....	84
5.5.3	Schedule	85
5.5.4	ディスク情報.....	86
5.5.5	検索ページ.....	87
5.6	AI.....	88
5.6.1	Object Detection	89
5.6.2	ビデオ監視.....	93
5.6.3	Vehicle Speed 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。..	102
5.6.4	ANPR 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。.....	103

5.6.5	Tampering.....	104
5.7	Zoom.....	105
5.7.1	プリセット.....	106
5.7.2	Advanced.....	107
5.7.3	External PTZ.....	109
5.8	ユーザ.....	114
5.8.1	ユーザリスト.....	115
5.8.2	ログインポリシー.....	117
5.9	システム.....	119
5.9.1	Information.....	120
5.9.2	Upgrade & Reboot.....	122
5.9.3	時刻.....	125
5.9.4	OSD.....	126
5.9.5	言語.....	129
5.9.6	Log.....	130
6	Live メニュー.....	134
7	製品仕様.....	136
8	困ったときには.....	138
9	製品保証.....	139

1. はじめに

1.1. 製品概要

本モデルは、1/1.8”プログレッシブスキャン CMOS センサーを搭載した、4K 解像度対応のネットワークバレットカメラです。最大 30fps@3840x2160 の映像を提供することができます。AI 機能によるオブジェクト検出(人、車、バイク)やノイズ除去による画像鮮明化、EIS 機能(電子式手ぶれ補正)も搭載しています。

1.2. 特徴

- 1/1.8”プログレッシブスキャン CMOS センサーを搭載し、高解像度、高画質を実現
- 赤外線 LED を装備し、夜間の照明のない環境でも撮影可能
- AI 機能による「人間」「車両」「バイク」の検出、これらの認識機能とライン越え、エリア侵入/退出、エリア内活動の各検知機能を組み合わせることで、正確な検知が可能
- 低照度時の AI での画像鮮明化機能搭載
- H.264/H.265/MJPEG 対応
- さまざまな外部 I/F を装備(アラーム入出力、音声入出力)
- IP68 規格対応の防水防塵構造
- モーション検知、妨害検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能を搭載
- 電子制御によるブレ補正機能(EIS)搭載

1.3.梱包物一覧

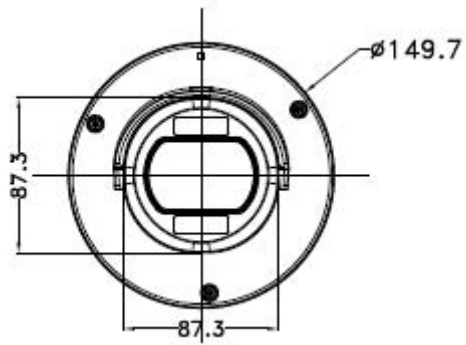
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
サンシェード	1 個
本体カバー	1 個
マウント用プレート	1 個
サンシェード用ねじ	1 個
サンシェード用ワッシャー	1 個
本体固定用ねじ	3 個
マウント用ねじ	4 個
マウント用ねじ固定プラスチックアンカー	4 個
六角レンチ(大)	1 個
六角レンチ(小)	1 個
LAN ケーブルインストーラ	1 個
LAN ケーブル(ケーブルグロメット付き)	1 個

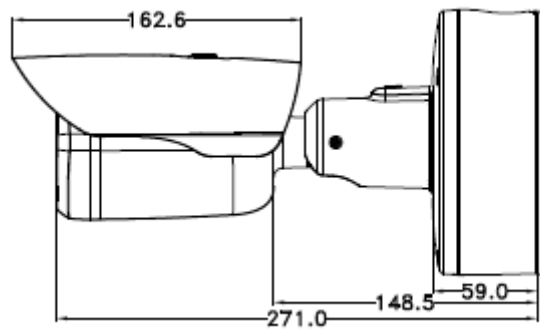
1.4. 製品外観

<本体図面>

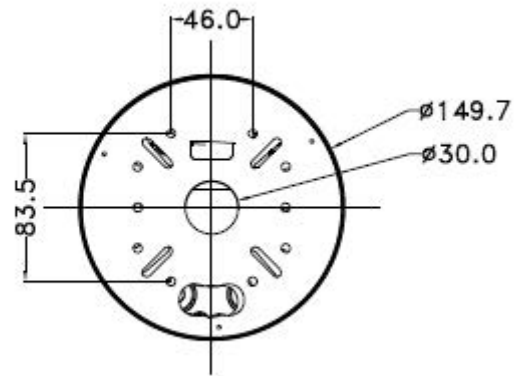
1.4.1 前面



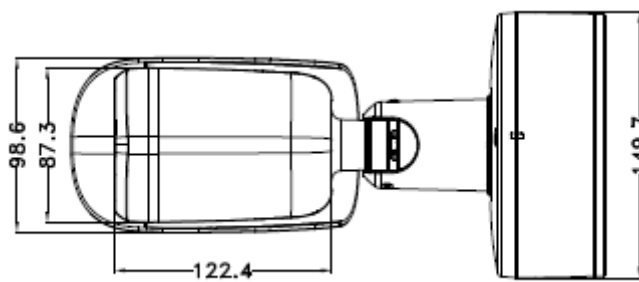
1.4.2 側面



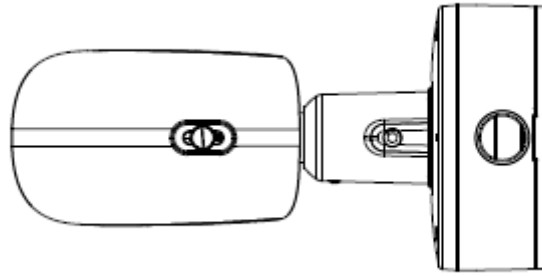
1.4.3 背面



1.4.4 底面



1.4.5 上面



<本体写真>

1.4.6 前面



1.4.7 側面



1.4.8 背面



1.4.9 底面



1.4.10 上面

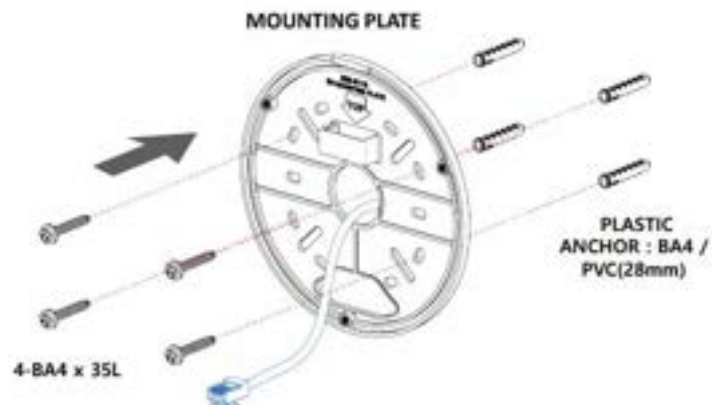


1.5.カメラの設置

本製品の設置方法について説明します。

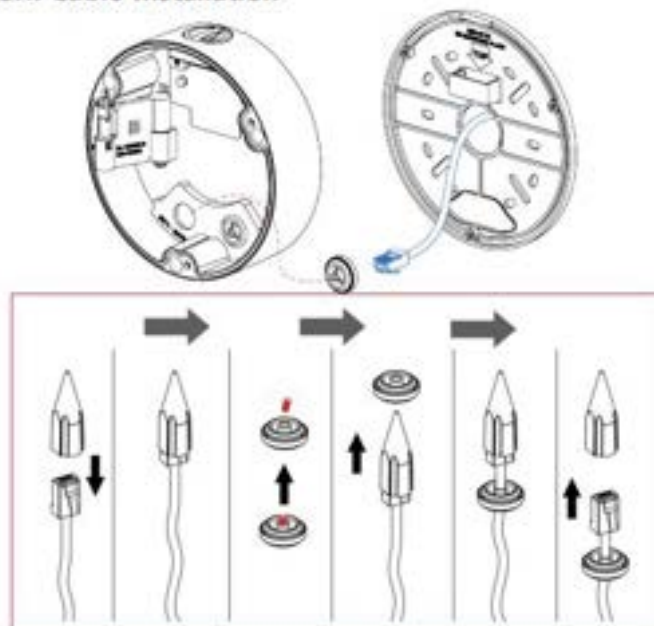
注意: 壁または天井が、カメラの3倍の重量に耐えられる強度であることを確認して取り付けてください。

- ① ドリルテンプレートなどを使い、壁面にねじ穴4つと、ケーブル穴1つ(壁面にケーブルを通す場合)を開けます。
- ② 壁面のねじ穴に“マウント用ねじ固定プラスチックアンカー”を差し込み、“マウント用プレート”と“マウント用ねじ”を順に取り付けます。

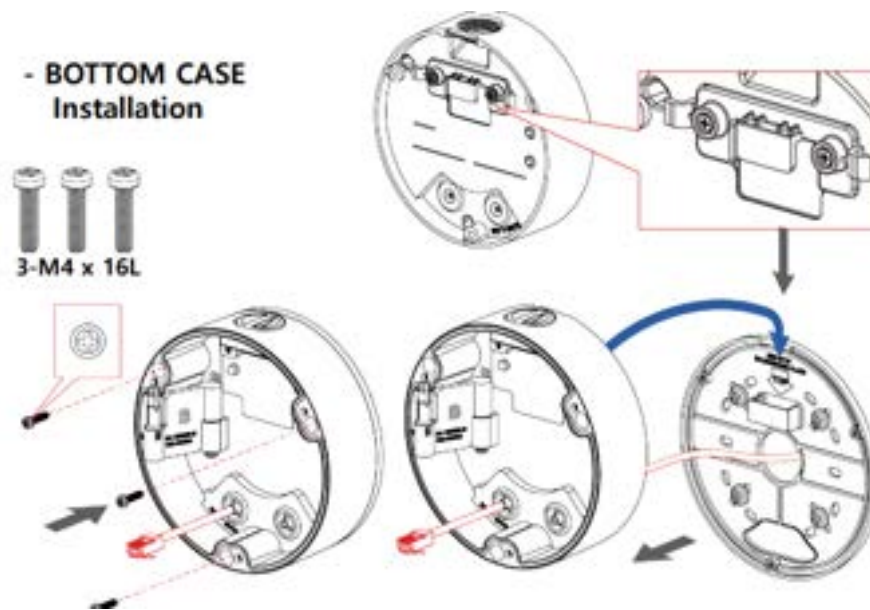


- ③ “LAN ケーブルインストーラ”を用いて“本体カバー”のケーブルグロメットに LAN ケーブルを通します。

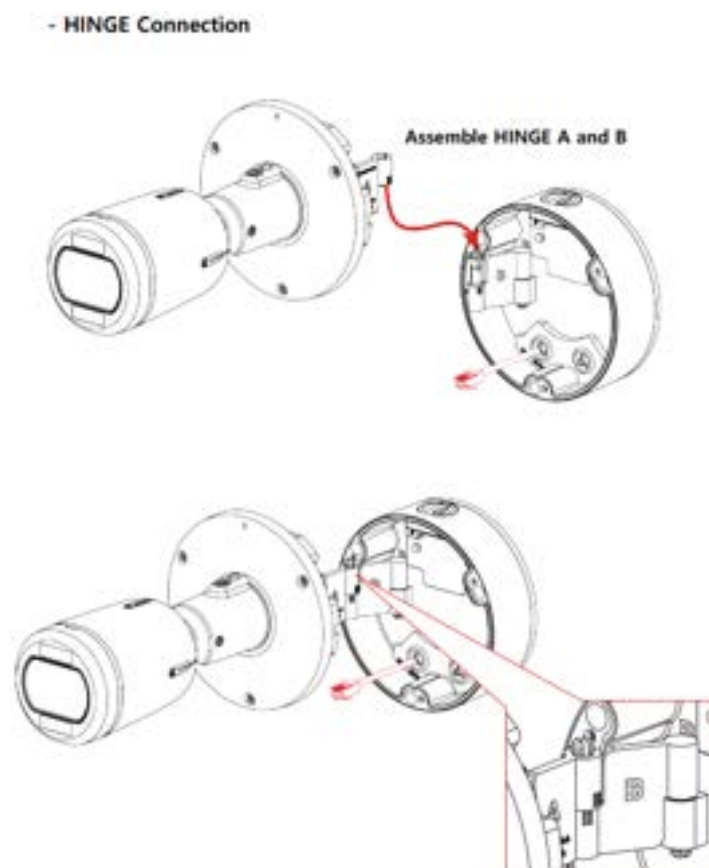
- Network Cable Installation



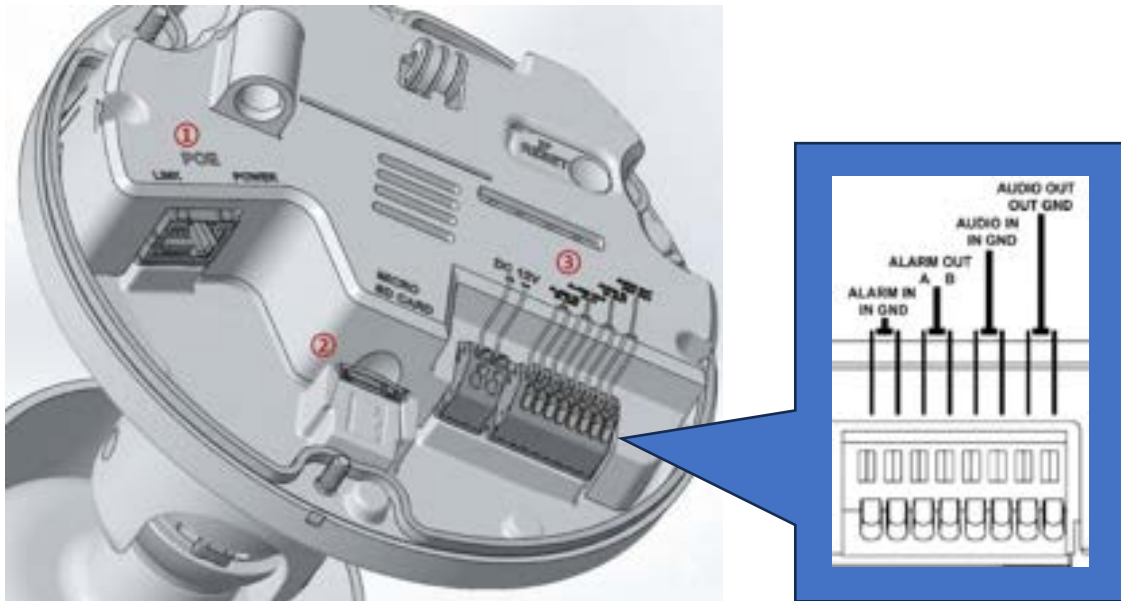
- ④ “マウント用プレート”に“本体カバー”を取り付けます。



- ⑤ カメラを図のように取り付けて完成です。



1.6.各端子について



表示	説明
LAN ポート	図の①の部分となります。 LAN ケーブルを接続します。
MicroSD カード差込口	図の②の部分となります。 録画の際に MicroSD カードを差し込んでご使用ください。 ※MicroSD カードは付属しておりませんので、別途ご用意ください。
Alarm、Audio	図の③の部分となります。 アラーム、オーディオ用の端子接続口となります。

※③付近にある DC 電源用の端子は未サポートのためご利用になれません。

2 設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、HIC-TRB400 の設定を行います。

- ログイン初期設定

IP アドレス : 192.168.10.100/24

ユーザ名 : admin

パスワード : 1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.10.100”を入力して接続します。



2. ユーザ名とパスワードを入力して、”サインイン”をクリックします。



3. 初期パスワードの変更を必ず行います。

現パスワードには初期値の 1234 を入力します。新パスワード/パスワード確認には初期値以外の新しいパスワードを入力し、変更をクリックしてパスワードを変更します。

Any accesses are restricted before changing the initial password.

パスワード変更

ID

現パスワード

新パスワード

パスワード確認

4. 再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、上記 3 で設定した新しいパスワードでログインします。

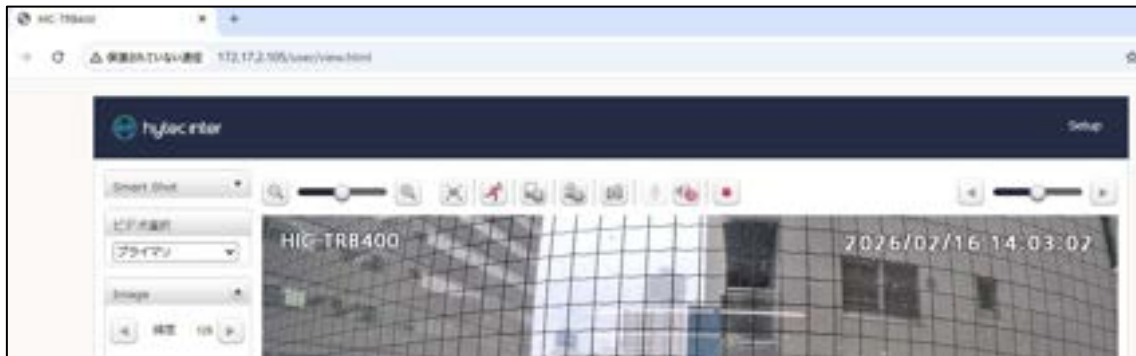
このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.10.100 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

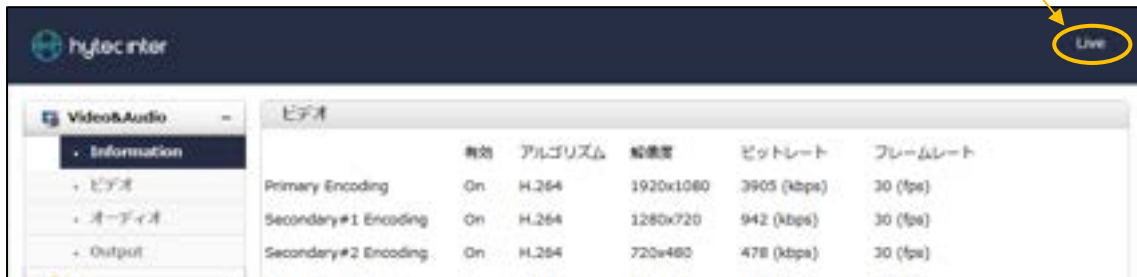
5. ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。



3 メニューの切り替え方法

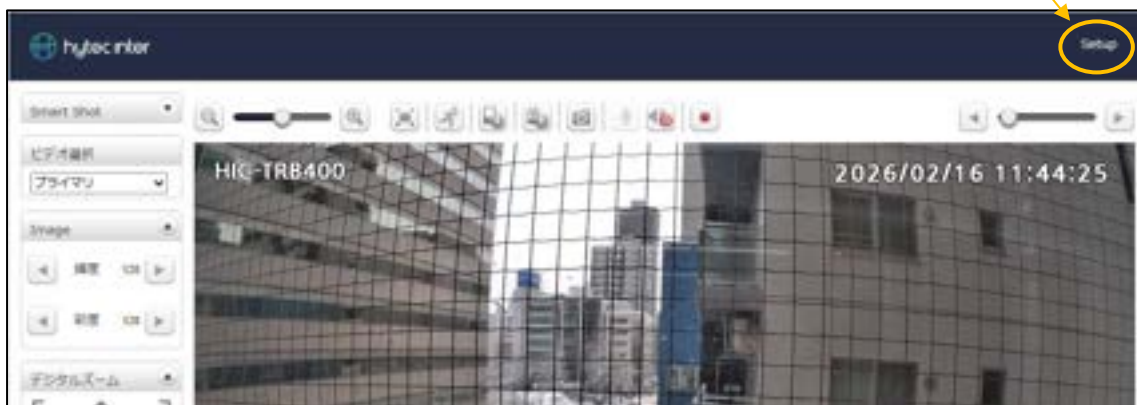
3.1 SetupメニューからLiveメニューへの切り替え

画面右上の”Live”をクリックします。



3.2 LiveメニューからSetupメニューへの切り替え

画面右上の”Setup”をクリックします。



4 基本設定

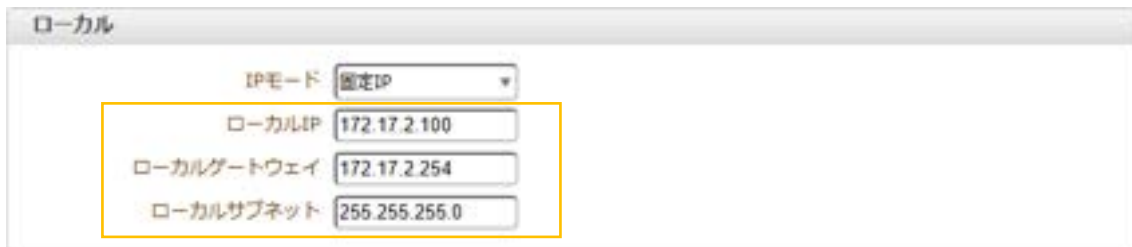
4.1 IP アドレスの変更

1. ネットワークの“IP&Port”をクリックします。



2. ローカル IP (IP アドレス)、ローカルゲートウェイ (デフォルトゲートウェイ)、ローカルサブネット (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。

※IP モードを DHCP にした場合、ローカル設定は入力できません。



3. 画面右下の”適用”をクリックし、設定を反映させます。

※本機は自動で再起動します。

4. ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力しログインします。



5 Setup メニュー

5.1 Video&Audio

Setup メニュー画面から”Video&Audio”タブをクリックします。



➤ Video&Audio メニュー

表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
ビデオ	ビデオ入力形式の選択、解像度やビットレートなどの設定を行います。
オーディオ	オーディオ入力の設定を行います。
Output	オーディオ出力の設定を行います。

5.1.1 Information

Video&Audio		ビデオ				
Information		有効	アルゴリズム	解像度	ビットレート	フレームレート
ビデオ	Primary Encoding	On	H.264	1920x1080	3931 (kbps)	31 (fps)
オーディオ	Secondary#1 Encoding	On	H.264	1280x720	978 (kbps)	31 (fps)
Output	Secondary#2 Encoding	On	H.264	720x480	496 (kbps)	31 (fps)
Image	Secondary#3 Encoding	On	H.264	320x240	501 (kbps)	31 (fps)
ネットワーク	オーディオ					
イベント		有効	アルゴリズム	Sampling rate	ビットレート	
録画	Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	64 (kbps)	
AI	Audio Decoding	On	-	-	0 (kbps)	
Zoom						
ユーザ						
システム						

表示	説明
ビデオ	ビデオ (Primary/Secondary#1-3) のエンコーディング情報を表示します。
オーディオ	オーディオのエンコーディング・デコーディング情報を表示します。

5.1.2 ビデオ

The screenshot displays the video configuration interface for the HIC-TRB400 camera. The top section shows a live video feed from camera HIC-TRB400, displaying a building facade through a window grid. The interface includes a left sidebar with menu items like 'Information', 'ビデオ', 'オーディオ', and 'Output'. Below the video feed is the 'ビデオ' (Video) configuration panel, which includes settings for input format (3840x2160p30), Smart Stream (Secondary#1), codec (H.264), resolution (1920x1080), frame rate (30), bitrate (4000 kbps), and H.264 Profile (High Profile). A '適用' (Apply) button is located at the bottom right.

- ビデオ

ビデオ	
入力フォーマット	3840x2160p30
Smart Stream	セカンダリ#1

表示	説明
入力フォーマット	<p>入力形式の選択をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3840x2160p30 ・3840x2160p25 ・2160x3840p30 (CW) ・2160x3840p25 (CW) ・2160x3840p30 (CCW) ・2160x3840p25 (CCW) <p>※CW: 時計回りに 90 度回転、CCW: 反時計回りに 90 度回転 ※CW/CCW を選択した場合は AI 機能はご使用になれません。</p>
Smart Stream	<p>AI 機能で検知に使用するストリームを選択します。</p> <p>※AI 使用時はセカンダリ#3 はご使用になれません。</p>

プライマリ

プライマリ	セカンダリ#1	セカンダリ#2	セカンダリ#3
アルゴリズム <input checked="" type="radio"/> H.264 <input type="radio"/> H.265 解像度 1920x1080 <input type="checkbox"/> Scaling フレームレート 30 設定 CBR 品質 エコノミー ビットレート 4000 kbps (32 ~ 16384) I-フレーム間隔 <input type="range"/> 60 H.264 Profile High Profile			

表示	説明
アルゴリズム	<p>H.264 または H.265 から圧縮方式を選択します。</p> <p>※H.265 に対応していない PC を使用した場合、Live 画面の映像が細切れ状に映ることがあります。</p>
解像度	ビデオのエンコード解像度を選択します。[Max: 3840 x 2160]
Scaling	入力フォーマットとアスペクト比が異なる場合に、画像を伸縮させて設定解像度に表示する機能です。

フレームレート	1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max: 30] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
設定	エンコーディングモードを選択します。 ビデオ品質 (VBR) またはビットレート (CBR) を制御します。
品質	ビデオ品質を設定します。[8 段階] 設定で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードしようとします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
ビットレート	ビットレート値を設定します。[32-16384kbps] 設定で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 ※再生モード(RTSP/MPEG-TS)によっては映像が乱れることがあります。ビットレートを調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-フレーム間隔	I-フレームを送信する間隔を設定します。[0-255]
H.264 Profile	アルゴリズムで H.264 を選択した場合、プロファイルを High Profile/Main Profile から選択します。

セカンダリ#1～3

プライマリ	セカンダリ#1	セカンダリ#2	セカンダリ#3
有効 <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On			
アルゴリズム <input checked="" type="radio"/> H.264 <input type="radio"/> MJPEG <input type="radio"/> H.265			
解像度 720x480 <input type="checkbox"/> Scaling			
フレームレート 30			
設定 CBR			
品質 上ノーマル			
ビットレート 512 kbps (32 ~ 4096)			
I-フレーム間隔 <input type="range"/> 60			
H.264 Profile High Profile			

表示	説明
有効	セカンダリ#1-3 を使用する場合は ON にします。
アルゴリズム	H.264 または H.265 から圧縮方式を選択します。 セカンダリ#3 のみ、H.264、H.265、MJPEG の選択が可能です。 ※1
解像度	ビデオのエンコード解像度を選択します。 セカンダリ#1: Max 1920 x 1080 セカンダリ#2: Max 1920 x 1080 セカンダリ#3: Max 720 x 480
フレームレート	ビデオストリームの 1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max: 30] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
設定	エンコードモードを選択します。 ビデオ品質 (VBR) またはビットレート (CBR) を制御します。
品質	ビデオ品質を設定します。[8 段階] 設定で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
ビットレート	ビットレート値を設定します。[32-4096kbps] 設定で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 ※再生モード (RTSP/MPEG-TS) によっては映像が乱れることがあります。ビットレートを調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。

I-フレーム間隔	I-フレームを送信する間隔を設定します。[0-255]
H.264 Profile	アルゴリズムで H.264 を選択した場合、プロファイルを選択します。

※1 MJPEG の注意事項

- ① RTSP/ONVIF での映像伝送をサポートします。
MPEG-TS/SRT/RTMP での映像伝送は未サポートのため、ご使用になれません。
- ② MJPEG 選択時の設定は VBR のみサポートとなるため、ビットレートは設定できません。

5.1.3 オーディオ



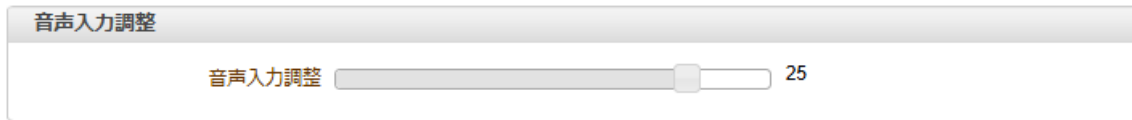
- オーディオ



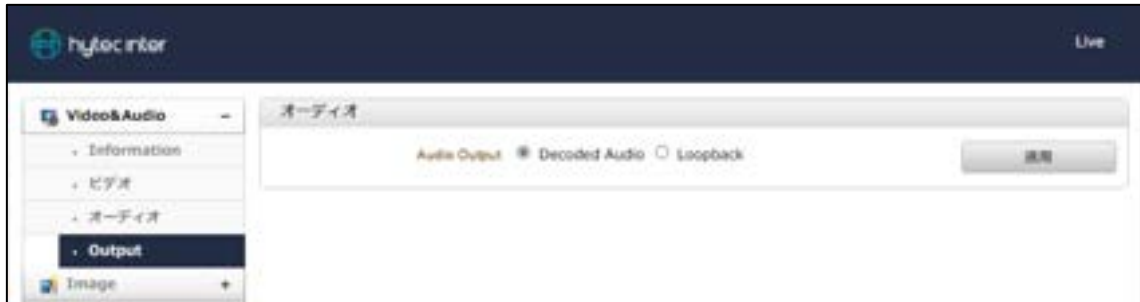
表示	説明
アルゴリズム	G.711 を選択します。※モノラル音声のみの対応になります。
ビットレート	サンプリングレートは、G.711 の場合 8KHz に固定されます。 カメラがデコーダに接続されている場合、カメラとデコーダのオーディオアルゴリズムを同じ設定にします。
モード	オーディオ動作モードを Off(送受信なし)、送信のみ、受信のみ、送受信から選択します。

- 音声入力調整

AUDIO IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0-31]



5.1.4 Output



- オーディオ

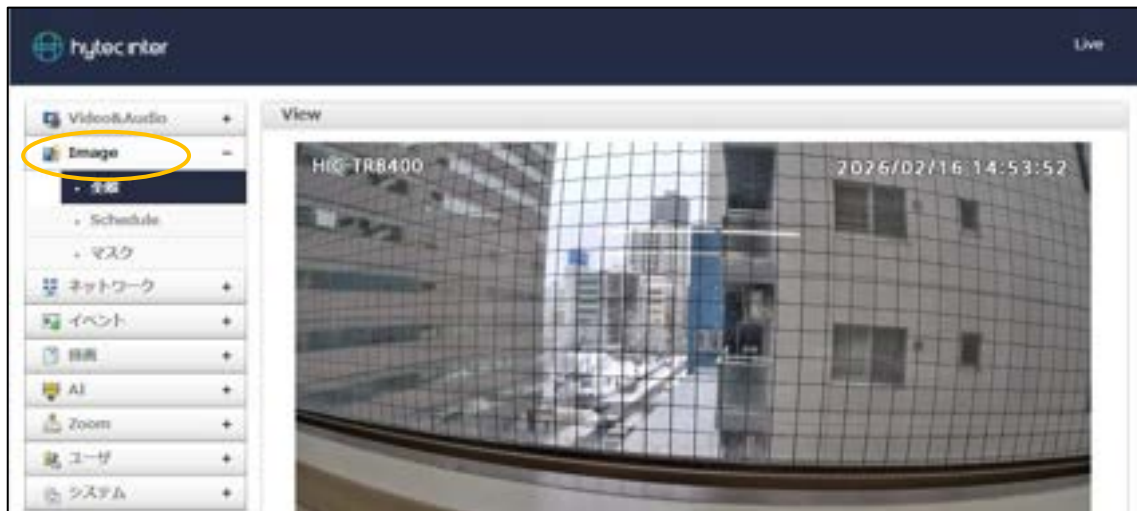


表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 Decoded Audio: デコーダ側から入力した音声を出します。 Loopback: カメラでのオーディオ入力端子に入力した音声をそのまま出力します。

5.2 Image

Setup メニュー画面から”Image”タブをクリックします。

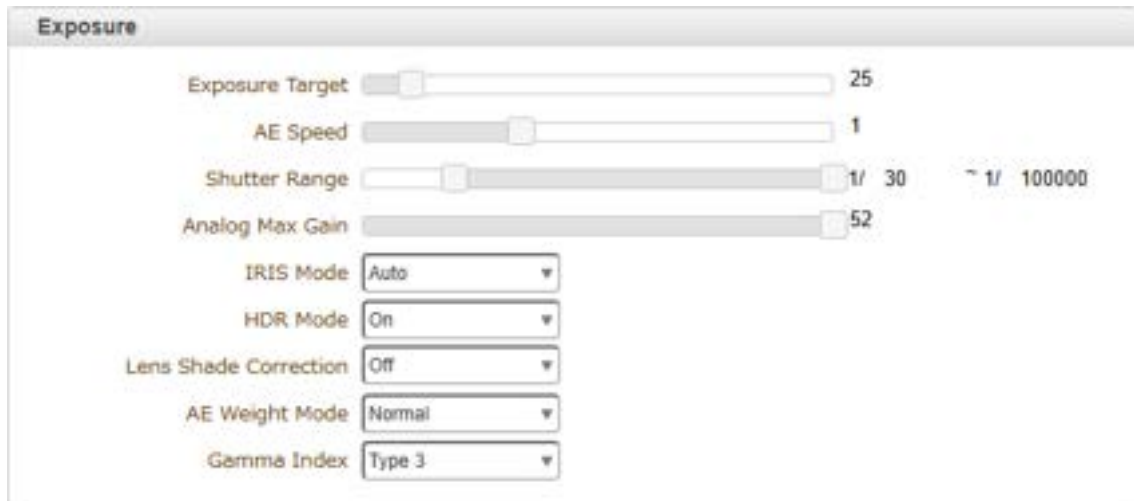
➤ Image メニュー



➤

表示	説明
全般	カメラの基本的な画像の調整と設定を行います。
Schedule	カメラの画像設定を特定の時間帯に、自動的に変更できる設定を行います。
マスク	カメラの映像内で、特定のエリアを隠すための設定を行います。

5.2.1 全般



- Exposure

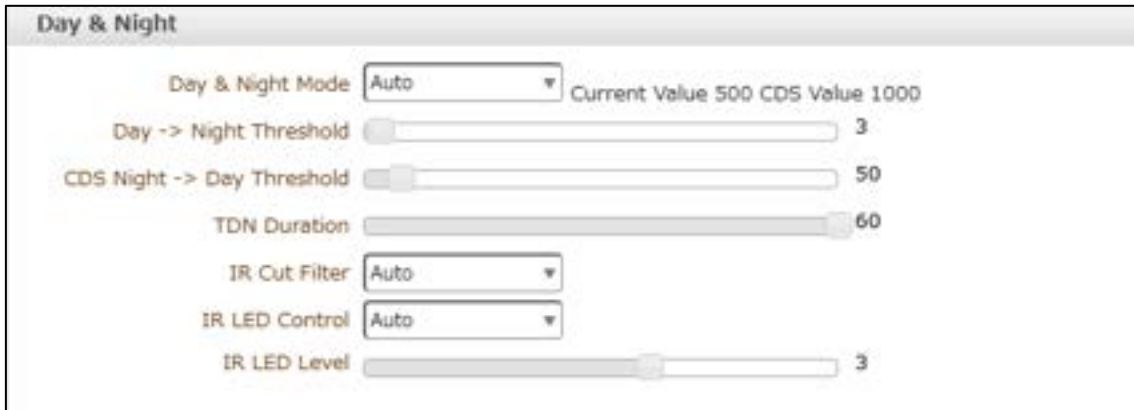
表示	説明
Exposure Target	カメラの撮影する映像の明るさの設定を行います。 設定値が高いほど、カメラの映像が明るくなります。
AE Speed	カメラが自動でシャッタースピード、絞りなどを調整するスピードです。 設定値が高いほど高速で切り替わります。
Shutter Range	シャッタースピードを設定します。
Analog Max Gain	手動でゲインを調整する機能です。 数値が高いほど映像が明るくなります。
IRIS Mode	絞りを調整します。 Auto でご使用ください。
HDR Mode	明暗差の激しい環境での、明るい場所の「白とび」や、暗い場所の「黒つぶれ」を抑えます。
Lens Shade Correction	映像の端の明るさを補正する機能です。
AE Weight Mode	明るさ調整機能です。 Auto でご使用ください。
Gamma Index	明るさを補正します。 設定値が大きいほど暗い色味となります。



- Color & Filter

表示	説明
Brightness	ディスプレイやカメラの画面の明るさの設定を行います。 設定値が高いほど、カメラの映像が明るくなります。
Contrast	画面の明暗の差を調整する設定を行います。 設定値が高いほど、コントラストが強くなります。
彩度	画像の色の鮮やかさや強さの調整をする設定を行います。 設定値が高いほど、映像の色の鮮やかさが増します。
AI Denoise Mode	画像のノイズの除去をおこないます。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
Noise Filter	画像や映像のノイズを低減するための設定を行います。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
Noise Level	3D ノイズリダクション技術を使用して、映像のノイズを低減する設定を行います。クリアで鮮明な映像を提供するための機能です。 設定値が高いほど、3DNR の効果が強くなります。
Edge Filter	画像の輪郭を強調するための設定を行います。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
Edge Level	画像の輪郭の強調度の設定を行います。 設定値が高いほど、映像のエッジ(輪郭)が、強調されます。
Defog	霧や雨などの影響でコントラストが低くなった映像をソフトウェア処理により、画像の鮮明度を向上させる設定を行います。 この機能を使用することで、自然な色彩を良好に保持することができます。Foggy Filter 機能と併用する事が可能です。 機能を有効にする場合、On にしてください。

Lens Distortion Correction	広角レンズなどによって生じる画像の歪みを補正する設定を行います。 機能を有効にする場合は、On にしてください。 ※AI Denoise Mode との併用はできません。
---------------------------------------	---



- Day & Night

表示	説明
Day & Night Mode	<p>昼間モード(Day)と夜間モード(Night)を切り替える設定を行います。</p> <p>※モードを切り替える際、映像の切り替わりに時間がかかる場合がありますので、設定を変更後に 5 秒ほどお待ちください。</p> <p>Auto: カメラが自動で周囲の照明条件に応じて、Day と Night の切り替えを行います。</p> <p>Day: カメラは常時 Day モード(カラー)で撮影を行います。</p> <p>Night: カメラは常時 Night モード(白黒)で撮影を行います。</p> <p>CDN: CDN センサーの明るさに応じて、Day と Night の切り替えを行います。</p>
Day -> Night/ CDS Night -> Day Threshold	<p>昼間モード(Day)と夜間モード(Night)を切り替える基準となる光量の値を設定します。</p>
TDN Duration	<p>現在のモード(Day または Night)から別のモードへ切り替わるまでの「状態を維持する待機時間」を設定する機能です。</p> <p>Day&Night Mode の設定を「Auto」または「CDN」に設定した場合に有効です。</p>
IR Cut Filter	<p>昼夜の撮影条件に応じて、赤外線のカットします。</p> <p>Auto: 周囲の明るさに応じて自動的にフィルターの切り替えを行います。</p> <p>IR Filter On: 赤外線カットフィルターが常に有効になります。</p> <p>IR Filter Off: 赤外線カットフィルターが常に無効になります。</p>
IR LED Control	<p>赤外線の有効・無効を設定します。</p>
IR LED Level	<p>赤外線の照射強度を設定します。</p>

ETC	
Horizontal Flip	Off ▼
Vertical Flip	Off ▼
EIS Mode	Off ▼

- ETC

表示	説明
Horizontal Flip	カメラが撮影した映像が、左右反転して表示されます。 機能を有効にする場合は、Onにしてください。
Vertical Flip	カメラが撮影した映像が、上下反転して表示されます。 機能を有効にする場合は、Onにしてください。※
EIS Mode	カメラが揺れたり振動した場合に、映像のブレを補正することができます。 機能を有効にする場合は、Onにしてください。 ※AI Denoise Mode との併用はできません。

※Vertical Flip は本体再起動後、設定が ON でも上下反転が解除される場合があります。

その際は、一度 OFF にしてから再度 ON に設定してご使用ください。

5.2.2 Schedule

表示	説明
スケジュール表	カメラの Image スケジュールの設定を行います。

5.2.3 マスク



表示	説明
マスク番号選択	プライバシーマスクの設定を保存する番号を選択します。
Blur(チェックボックス)	マスク部分を黒塗りからぼかしに変更します。
追加	カメラの映像に、新しいマスクエリアを追加する設定を行います。
検索	既に設定されているマスクエリアの検索を行います。 本機能は未サポートのためご使用になれません。
On/Off 表示	設定したマスクエリアの表示をオンまたはオフに切り替える設定を行います。
Off All 表示	設定されているすべてのマスクエリアの表示を一括でオフ(非表示)にすることができます。

5.3 ネットワーク

Setup メニュー画面から”ネットワーク”タブをクリックします。



➤ ネットワークメニュー

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
RTSP Multicast	RTSP マルチキャストの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Discovery	UPnP などの設定を行います。
One-way	片方向ストリーミング(MPEG-TS、RTMP)の設定を行います。
SRT	SRT の設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
IP filtering	データのやり取りを行う相手の制限を行います。
E-メール	Event が起きた際の通知 E-メールの送信設定を行います。
FTP	FTP アップロードの設定を行います。
接続	現在システムに接続しているクライアントを表示します。

5.3.1 IP & Port

The screenshot displays the 'hitecinter' web interface with the 'IP&Port' configuration page. The interface is in Japanese and includes a sidebar menu on the left and a main configuration area on the right. The main area is divided into several sections: 'ローカル' (Local), 'DNS', 'IPv6', 'ポート' (Ports), 'MTU Size', and 'マルチキャスト' (Multicast). Each section contains various input fields and checkboxes for configuring network parameters.

ローカル

- IPモード: 固定IP
- ローカルIP: 192.168.10.100
- ローカルゲートウェイ: 192.168.10.1
- ローカルサブネット: 255.255.255.0

DNS

- DNSサーバーのアドレスを自動取得する
- 以下のDNSサーバーを使用する
- 優先DNSサーバー: 8.8.8.8
- 代替DNSサーバー: 8.8.4.4

IPv6

- IPv6 Address: []
- IPv6 Subnet Prefix Length: 0
- IPv6 Default Gateway: []
- IPv6 LinkLocal: fe80::21c:63ff:fe02:c419/64

ポート

- 基本ポート: 2222 (1025~65535)
- HTTPポート: 80 (80, 1025~65535)
- HTTPSポート: 443 (443, 1025~65535)
- RTSPポート: 554 (554, 1025~65535)
- Audio Receive Port: 2200 (1025~65535)

MTU Size

- MTU Size: 1500 (default:1500, 576~)

マルチキャスト

- マルチキャストIP: 224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
- TTL: 64 (1~255)

Apply button: 適用

- ローカル

ローカル

IPモード

ローカルIP

ローカルゲートウェイ

ローカルサブネット

表示	説明
IP モード	固定 IP(手動設定)または DHCP(自動設定)を選択します。
ローカル IP	IP アドレスを設定します。 初期値: 192.168.10.100
ローカルゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値: 192.168.10.1
ローカルサブネット	サブネットマスクを設定します。 初期値: 255.255.255.0

- DNS

DNS

DNSサーバーのアドレスを自動取得する
 以下のDNSサーバーを使用する

優先DNSサーバー
 代替DNSサーバー

表示	説明
DNS 取得	「以下の DNS サーバを使用する」にチェックを入れてください。
優先 DNS サーバ	優先 DNS サーバのアドレスを入力します。
代替 DNS サーバ	代替 DNS サーバのアドレスを入力します。

※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

● IPv6



IPv6

IPv6 Address

IPv6 Subnet Prefix Length

IPv6 Default Gateway

IPv6 LinkLocal fe80::21c:63ff:fe01:3f5d/64

表示	説明
IPv6 Address	指定の IPv6 アドレスを入力します。
IPv6 Subnet Prefix Length	IPv6 サブネットのビット数を入力します。
IPv6 Default Gateway	指定の IPv6 ゲートウェイを入力します。
IPv6 Link Local	IPv6 Link Local アドレスを表示します。

- ポート

※ポートを変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

The screenshot shows a configuration window titled 'ポート' (Port). It contains five rows, each with a label, a text input field, and a range in parentheses:

- 基本ポート: 2222 (1025~65535)
- HTTPポート: 80 (80, 1025~65535)
- HTTPSポート: 443 (443, 1025~65535)
- RTSPポート: 554 (554, 1025~65535)
- Audio Receive Port: 2280 (1025~65535)

表示	説明
基本ポート	基本ポート番号を入力します。 初期値: 2222 [1025-65535]
HTTP ポート	Web ベースの接続に使用する HTTP ポート番号を入力します。 初期値: 80 [80,1025-65535]
HTTPS ポート	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値: 443 [443,1025-65535]
RTSP ポート	RTSP ベースの接続※1 に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値: 554 [554,1025-65535]
Audio Receive Port	音声を受信するためのポート番号を入力します。 初期値: 2280 [1025~65535]

※1 RTSP 接続の場合のストリーム URL の一覧は以下の通りです。

Primary	rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1
Secondary#1	rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1s1
Secondary#2	rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1s2
Secondary#3	rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1s3

- MTU Size

MTU Size	
MTU Size	<input type="text" value="1500"/> (default:1500, 68~)

表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値:1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- マルチキャスト 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

マルチキャスト	
マルチキャストIP	<input type="text" value="224.10.0.0"/> (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	<input type="text" value="64"/> (1~255)

5.3.2 RTSP Multicast



- RTSP Multicast



表示	説明
Primary	RTSP マルチキャストで配信する場合の配信先のマルチキャストアドレスおよびポート番号を設定します。
Secondary#1~3	
Audio	
Metadata	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

5.3.3 QoS



- QoS



表示	説明
QoS 有効	QoS を有効にする場合、On にします。
DSCP	IP ヘッダに挿入する DSCP 値を指定します。

5.3.4 Discovery



- Discovery



表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効の選択をします。 ホスト名(HICTRB400.local)が割り当てられ、ホスト名を使用して本機にアクセスできるようになります。
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 ONVIF をサポートしているクライアントからの検出ができるようになります。

5.3.5 One-way



- One-way Streaming

RTP



表示	説明
Mode	RTP を選択します。
ビデオ選択	送信するストリームを選択します。
ターゲット IP	RTP ストリームを受信する宛先システムの IP アドレスを設定します。
ターゲットポート	RTP ストリームを受信する宛先システムのポート番号を設定します。

MPEG-TS

One-way Streaming

Mode MPEG-TS ▼

	有効	ターゲットIP	ターゲットポート
プライマリ	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>
セカンダリ#1	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>
セカンダリ#2	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>
セカンダリ#3	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>

適用

表示	説明
Mode	MPEG-TS を選択します。
有効	片方向ストリームを有効にする場合、チェックを入れます。
ターゲット IP	片方向ストリーム配信の宛先システムの IP アドレスを設定します。 ユニキャスト:宛先 IP アドレスを入力 マルチキャスト:マルチキャストアドレスを入力
ターゲットポート	片方向ストリーム配信のポート番号を設定します。

※MPEG-TS は、音声非対応となります。

RTMP

RTMP は H.264 のみサポートしています。

One-way Streaming

Mode: RTMP

H.265 RTMP Streaming is not supported.

Primary: Enable

Destination IP: []

StreamName: []

UserName: []

Password: []

Secondary#1: Disable

Secondary#2: Disable

Secondary#3: Disable

適用

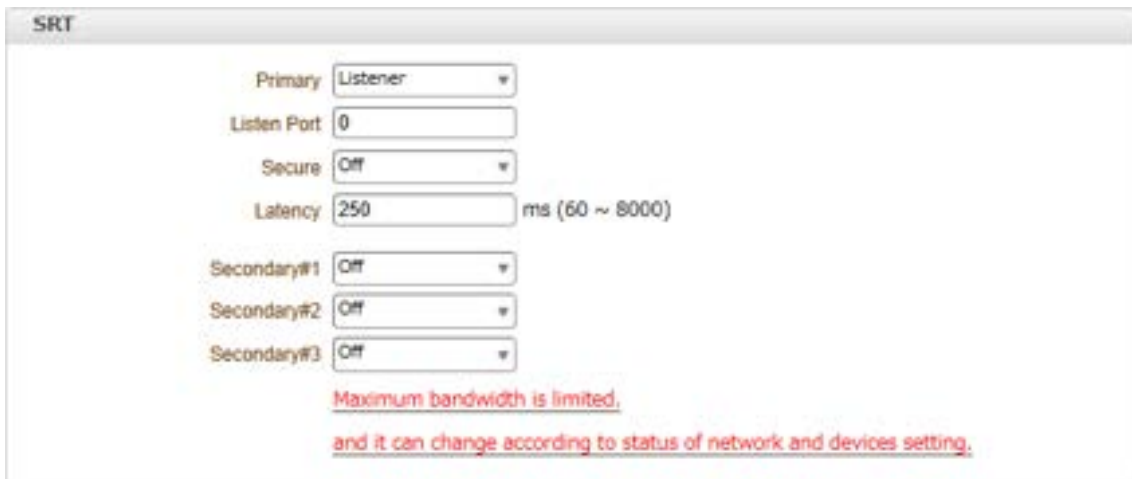
表示	説明
Mode	RTMP を選択します。
Primary Secondary#1~3	RTMP 配信を有効にする Primary または Secondary#1~3 は、Enable を選択し、以下の項目を設定します。
Destination IP	ストリーム URL を設定します。
Stream Name	ストリームの名前を設定します。
User Name	ユーザ名を設定します。
Password	パスワードを設定します。

※RTMP は、音声非推奨となります。

5.3.6 SRT



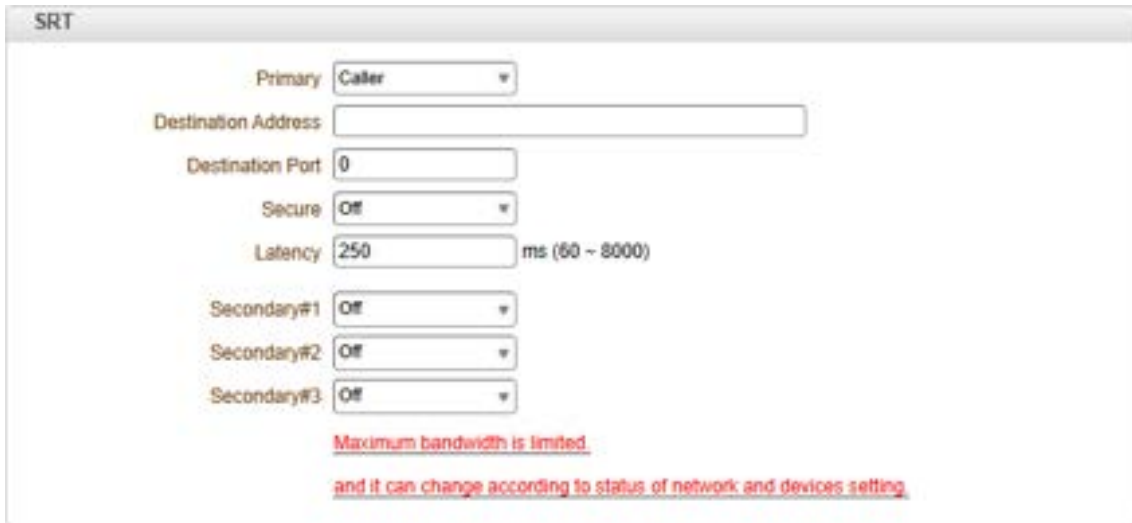
- SRT-Listener



SRT-Listener

表示	説明
Primary	Listener を選択します。
Listen Port	カメラが SRT パケットを受信するためのポート番号を設定します。
Secure	SRT のセキュリティ機能の設定を行います。 Off: セキュリティ機能は無効になります。 AES-128/256: セキュリティが有効になります。 必要なパスワードを入力します。
Latency	レイテンシの値を設定します。(60-8000) ms

SRT-Caller



Primary: Caller

Destination Address: [Empty]

Destination Port: 0

Secure: Off

Latency: 250 ms (60 - 8000)

Secondary#1: Off

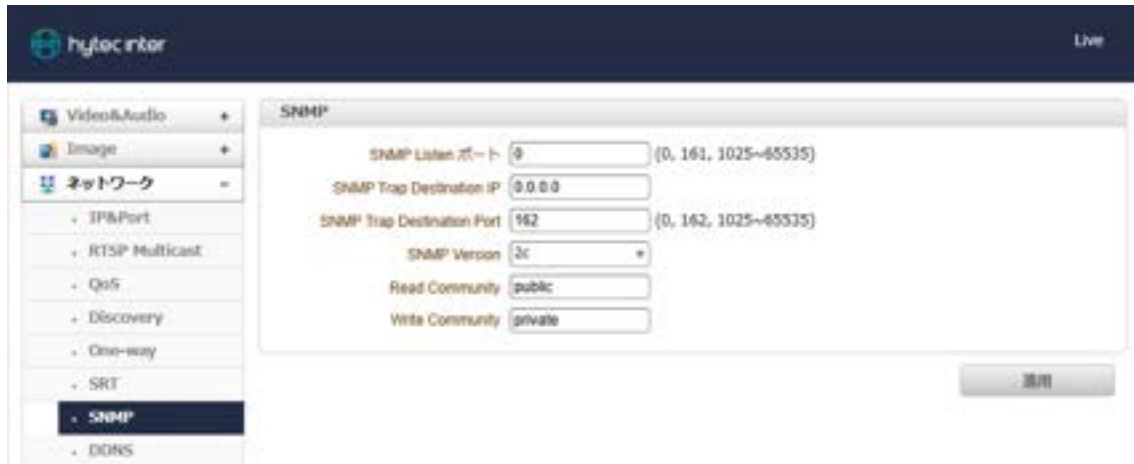
Secondary#2: Off

Secondary#3: Off

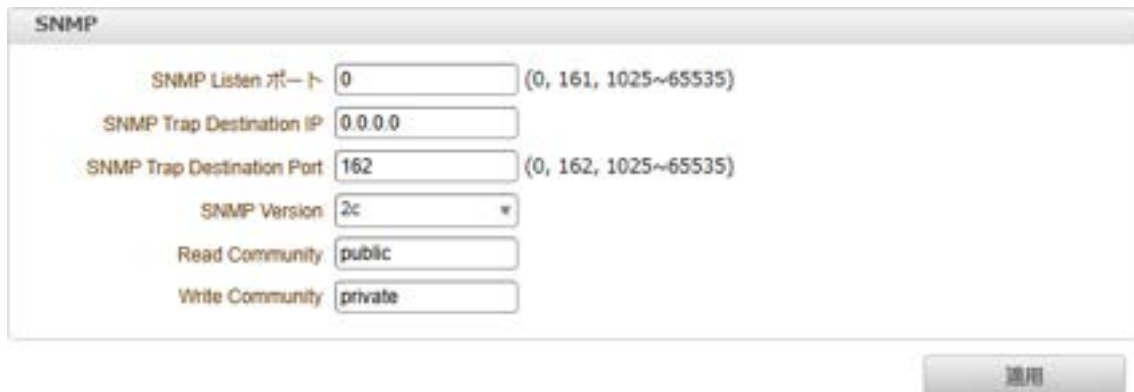
Maximum bandwidth is limited.
and it can change according to status of network and devices setting.

表示	説明
Primary	Caller を選択します。
Destination Address	SRT のデータを受信する宛先 IP アドレスを設定します。
Destination Port	SRT のデータを受信する宛先ポート番号を設定します。
Secure	SRT のセキュリティ機能の設定を行います。 Off: セキュリティ機能は無効になります。 AES-128/256: セキュリティが有効になります。 必要なパスフレーズを入力します。
Latency	レイテンシの値を設定します。(60-8000) ms

5.3.7 SNMP



● SNMP



表示	説明
SNMP Listen ポート	SNMP の待ち受けポートの設定を行います。 初期値: 161 [0,161,1025~65535] ※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP Trap Destination IP	SNMPトラップメッセージを送信する先の IP アドレスの設定を行います。
SNMP Trap Destination Port	SNMPトラップメッセージを受信するポート番号の設定を行います。 初期値: 162 [0,162,1025~65535] ※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP Version	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。 SNMP v3 を選択した場合は、 [User Authentication and Privacy(v3)]を設定します。
Read Community	MIB 情報の読み取りを行うコミュニティ名を設定します。
Write Community	MIB 情報の読み書きを行うコミュニティ名を設定します。

- User Authentication and Privacy (v3)

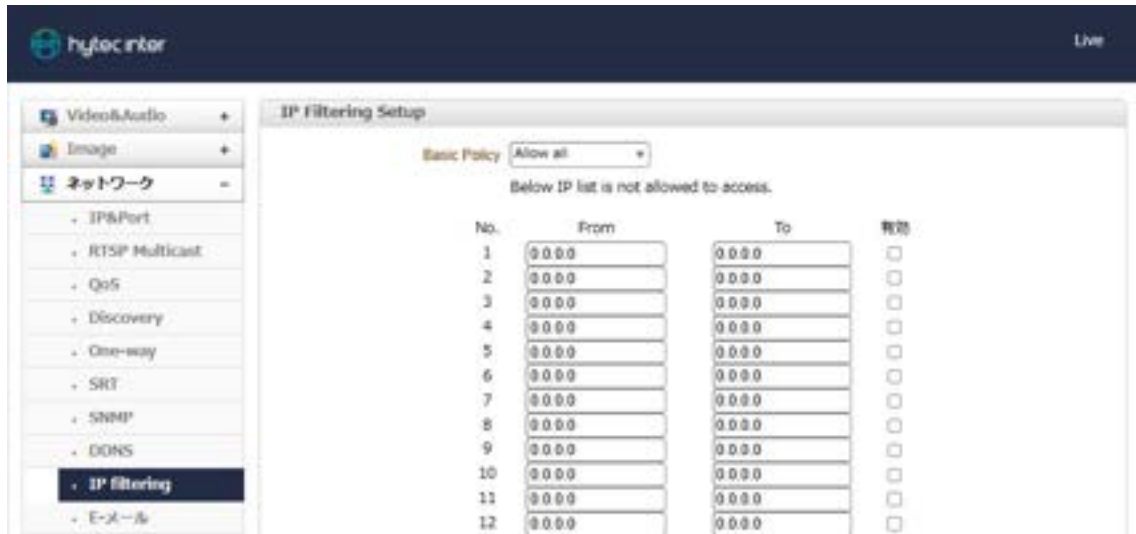
SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。

表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを none(ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none(暗号無し)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号パスワードを入力してください。※9 文字以上

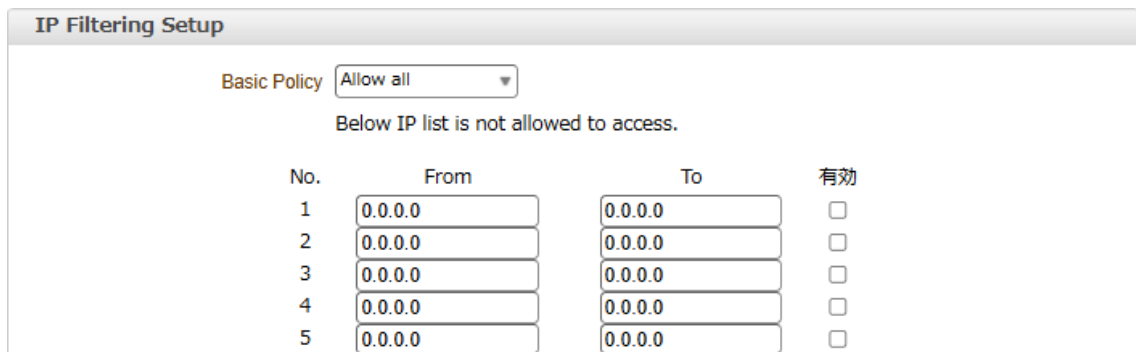
5.3.8 DDNS 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



5.3.9 IP Filtering



- IP Filtering Setup



表示	説明
Basic Policy	Allow all: リストにある IP アドレスからのアクセスを拒否します。 Deny all: リストにある IP アドレスからのアクセスを許可します。
From / To	アクセスを拒否または許可したい IP アドレスの範囲を入力します。
有効	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

5.3.10 E-メール

● E-メール

表示	説明
サーバアドレス	メール送信(SMTP)サーバのアドレスを入力します。
ポート	SMTP 操作のためのポートを指定します。 初期値: 25 [25, 465, 587, 1025~65535]
送り側アドレス	使用する E-メールアドレスを入力します。
SMTP サーバ	E メールを送信する際に SMTP サーバでの認証を必要とする場合、On にします。
ID / Password	“SMTP サーバ”が On の場合、E メールアカウントの ID とパスワードを入力する必要があります。

SSL	SSLの有効/無効の選択をします。
通知先メールアドレス	宛先アドレスを入力します。※60文字まで入力可能。

- メール通知

メール通知

画像添付 無効

フレーム数 1 (1 ~ 6)

Capture Interval Continuous

適用

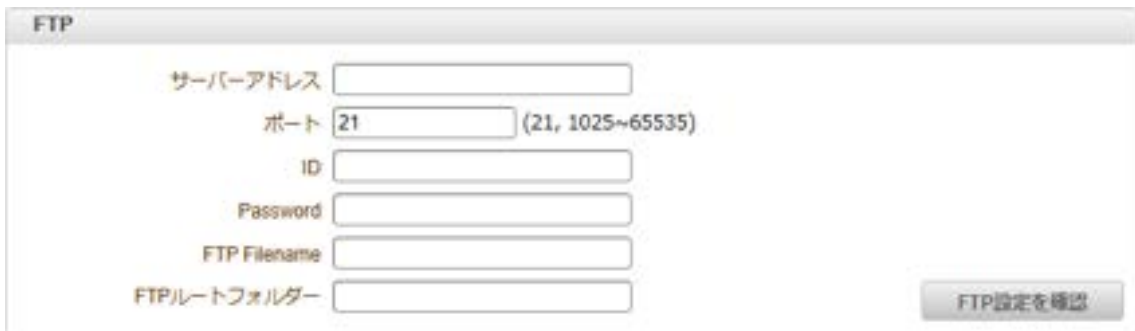
表示	説明
画像添付	通知時にビデオクリップ(映像または画像)を添付するのを選択します。
フレーム数	“画像添付”で”JPEG キャプチャ”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-6]
Capture Interval	“画像添付”で”JPEG キャプチャ”を選択し、 “フレーム数”の値を2以上に設定した場合、 キャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frames”を選択すると、3フレームに1枚の間隔でキャプチャします。

※メールに動画を添付するときは、解像度が低いものをご使用ください。


5.3.11 FTP



● FTP



表示	説明
サーバアドレス	ビデオファイルを受信するために、FTP サーバのアドレスを入力します。
ポート	FTP 操作のためのポートを指定します。 初期値: 21 [21,1025-65535]
ID / Password	FTP サーバにアクセスするための ID とパスワードを入力します。
FTP Filename	FTP によりアップロードするファイル名をユーザが指定できます。 ※ファイル名は 60 文字まで。 ファイル名には、以下のマクロが使用できます。 %EVENT: イベントタイプ(Sensor1 等)、 %ADDR: PTZ カメラのアドレス %YYYY: 西暦、%MM: 月、%DD: 日、 %hh: 時、%mm: 分、%ss: 秒

FTP ルートフォルダ	FTP サーバに作成するディレクトリの名前を指定します。
	クリックすると、FTP アップロード機能をテストすることができます。 ※使用する前に適用をクリックし、設定を保存してください。

ご注意

- 1) FTP Filename に何も入力しなかった場合は、以下の形式のファイル名が自動生成されます。
 <IPAddress>_<EVENT>_<YYMMDD>_<hhmmss>_<ファイル番号>.<拡張子>
 例) 1つ目のファイル: 192.168.10.100_Motion_250424_101530_00_0.jpg
 2つ目のファイル: 192.168.10.100_Motion_250424_101530_00_1.jpg
- 2) FTP Filename をユーザが指定した場合、次項の FTP アップロードにて JPEG キャプチャおよび複数フレームを指定した際にファイルの生成がうまくいかない可能性があります。
 JPEG キャプチャを使用する場合は FTP Filename の設定は空欄とすることを推奨いたします。

- FTP アップロード

FTPアップロード

ビデオアップロード

フレーム数 Send 1 frame per second. (1 ~ 6)

連続アップロード

アップロード時間 秒(最大 300)

アップロードインターバル 秒(最大 10800)

表示	説明
ビデオアップロード	FTP サーバにアップロードするファイルをプライマリビデオ、セカンダリビデオ#1~3(H.264 のみ)、JPEG キャプチャの中から選択します。
フレーム数	“ビデオアップロード”で“JPEG キャプチャ”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-6]
連続アップロード	定期的な FTP サーバへのアップロードを有効/無効に設定します。On の場合、下の二つが設定を行います。
アップロード時間	ビデオクリップの録画時間を指定し、アップロードします。 [最大 300 秒] 1つのファイルの最大容量が 1.5MB程度のため設定時間より短い時間の録画ファイルが作成される場合があります。
アップロードインターバル	FTP サーバへのアップロード間隔を指定します。[最大 10800 秒]

5.3.12 接続

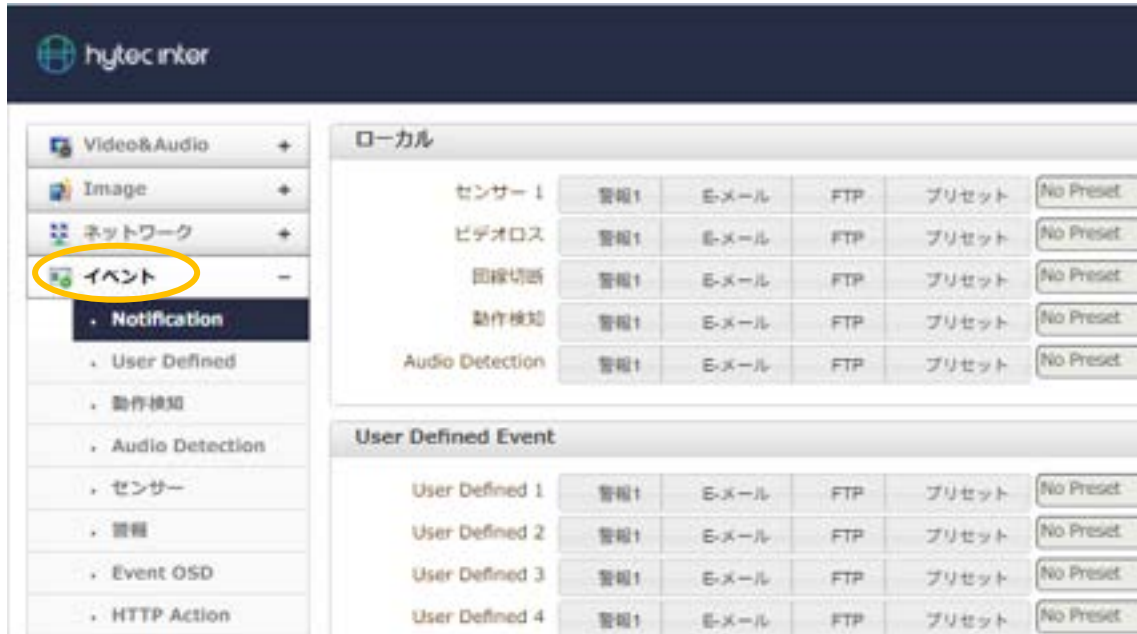


- 接続

表示	説明
接続	本機に接続しているクライアントの IP アドレスと接続方式の一覧が表示されます。
Refresh	表示を更新します。

5.4 イベント

Setup メニュー画面から”イベント”タブをクリックします。



➤ イベントメニュー

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	イベントの種類(時間変更等)の選択を行います。
動作検知	動体検知の設定を行います。
Audio Detection	検知する音声の制限をかけられます。
センサー	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
警報	イベント発生時のアラームの長さの設定を行います。
Event OSD	イベント発生時に表示する OSD の設定を行います。
HTTP Action	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

5.4.1 Notification



- ローカル

ローカルのイベントに対するアクションを設定します。

ローカル								
センサー 1	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 1	Http Action Off	
ビデオロス	警報1	E-メール	FTP	プリセット	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	
回線切断	警報1	E-メール	FTP	プリセット	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	
動作検知	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 2	Http Action Off	
Audio Detection	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 3	Http Action Off	

表示	説明
センサー 1	センサーが起動したときのアクションを設定します。
ビデオロス	ビデオ入力信号が失われたときのアクションを設定します。
回線切断	リンクが切断されたときのアクションを設定します。
動作検知	動体検知機能によって、動きが検出されたときのアクションを設定します。
Audio Detection	音声検知機能によって、音声を検出されたときのアクションを設定します。

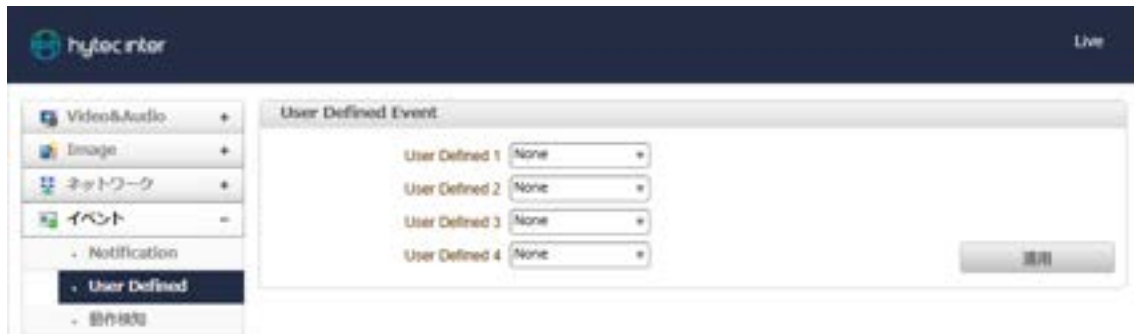
- User Defined Event

User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。

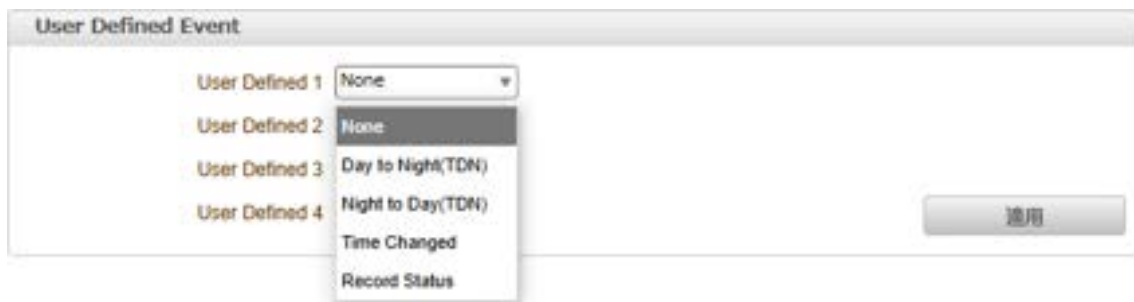
User Defined Event								
User Defined 1	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 4	Http Action Off	
User Defined 2	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 5	Http Action Off	
User Defined 3	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 6	Http Action Off	
User Defined 4	警報1	E-メール	FTP	プリセット	Preset-1	Event OSD 7	Http Action Off	

表示	説明
警報 1	アラーム 1 のリレー回路を作動させます。
E-メール	指定されたアドレスに E メールを送信します。録画ファイルも添付可能です。
FTP	指定した FTP サーバへ録画ファイルをアップロードします。
プリセット	プリセットに登録したズーム倍率に変更します。
Event OSD	画面上に OSD を表示します。
HTTP API	HTTP API を送信します。

5.4.2 User Defined

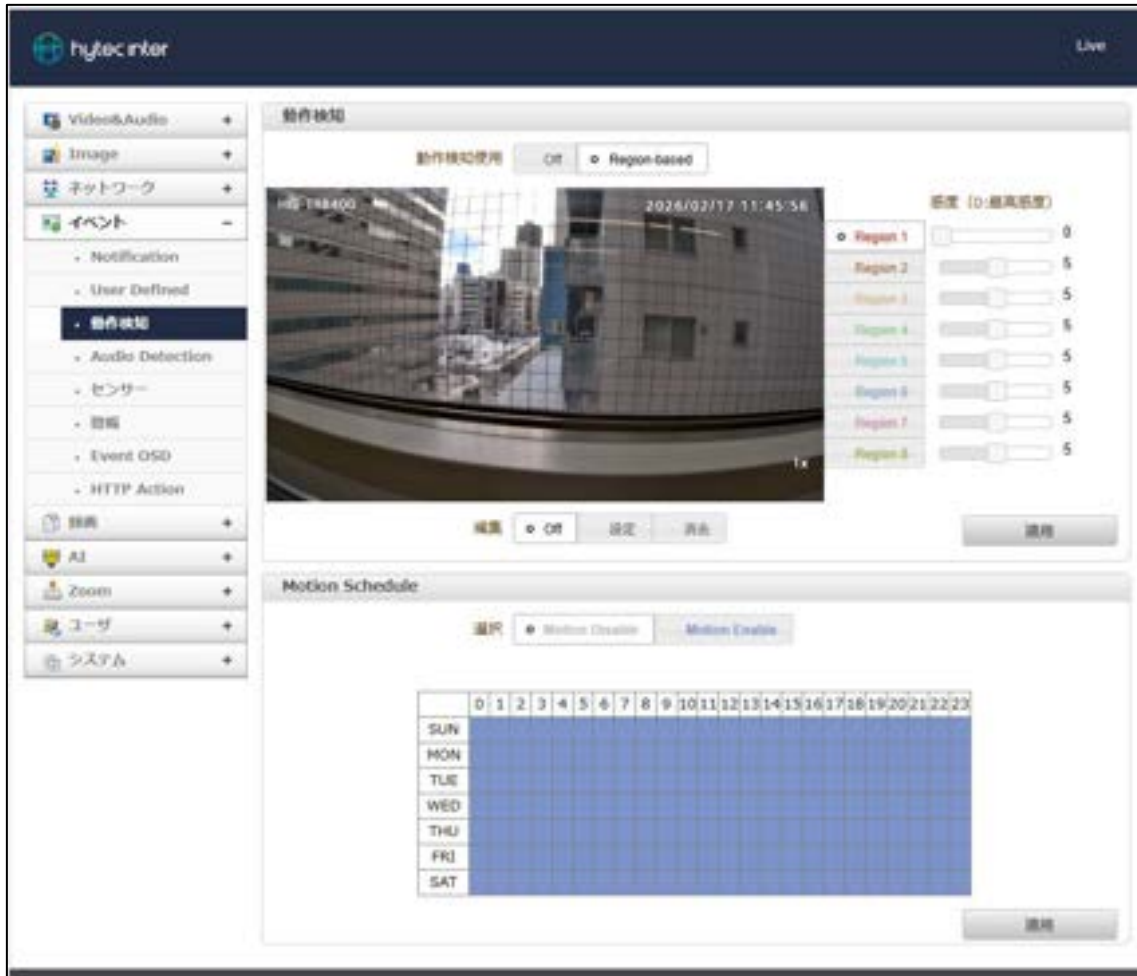


- User Defined Event



表示	説明
Day to Night(TDN)	Day モードから Night モードへの移行を検知した際にイベントを発生させます。
Night to Day(TDN)	Night モードから Day モードへの移行を検知した際にイベントを発生させます。
Time Changed	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
Record Status	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

5.4.3 動作検知

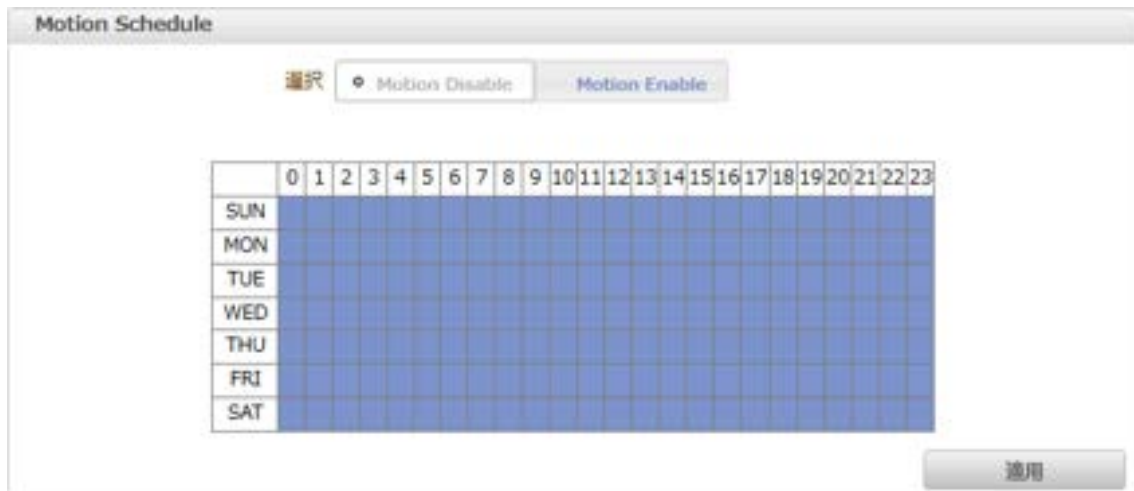


- 動体検知



表示	説明
動作検知使用	動体検知機能を使用する場合、Region-based を選択し、下の画面から動体検知を行う領域をマウストラッグで選択します。
編集	領域を指定する場合は「設定」、削除する場合は「消去」を選択します。
Region 1~8	動体検知を行う領域を最大 8 か所設定できます。
感度	各 Region で動体検知の感度を設定します。[0-10] ※0 が最も感度が高くなります。

- Motion Schedule



表示	説明
選択	Motion Enable(有効)または Motion Disable(無効)を選択し、クリックやドラッグで動体検知のスケジュール表を作成します。青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

5.4.4 Audio Detection

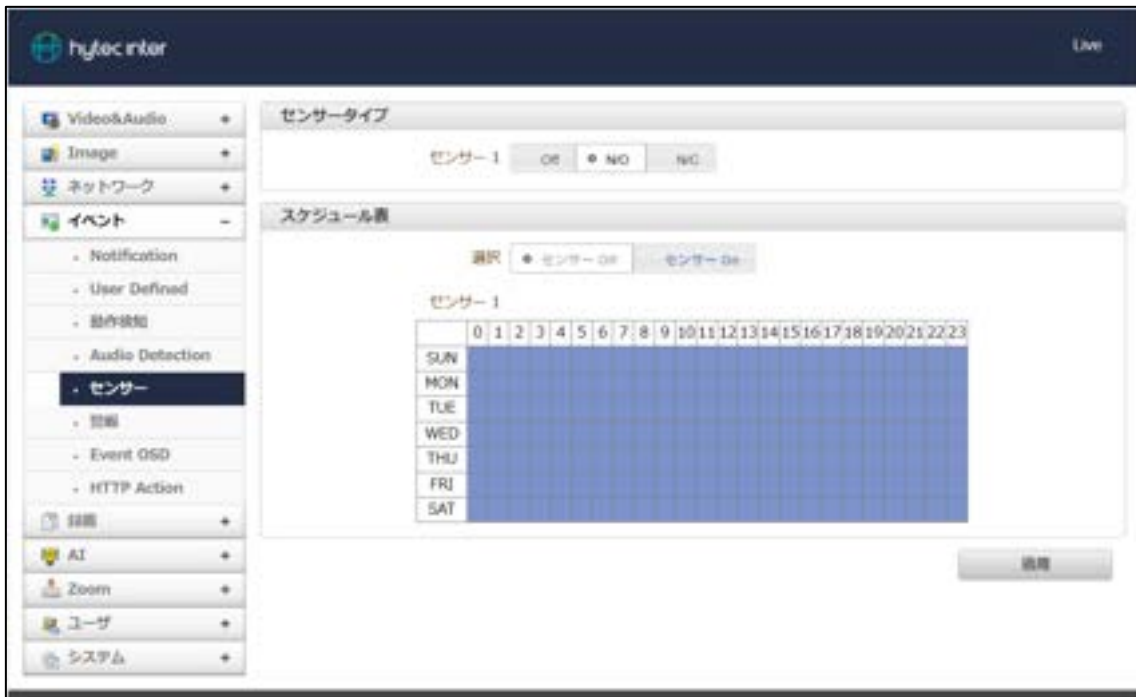


- Audio Detection



表示	説明
モード	Silence Detection または Sound Detection を選択します。
Detection Level	音声検知閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS] Silence Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が小さい場合にイベントを発生させます。 Sound Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい場合にイベントを発生させます。 ※「-60 dBFS」は未サポートとなります。
継続時間	Silence と Sound で、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。 Silence: 閾値より音声信号が小さい時間が Duration 時間を超えたときに、イベントを発生させます。 Sound: 閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。 ※「0」は未サポートとなります。

5.4.5 センサー



- センサータイプ



表示	説明
Off	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- スケジュール表

スケジュール表

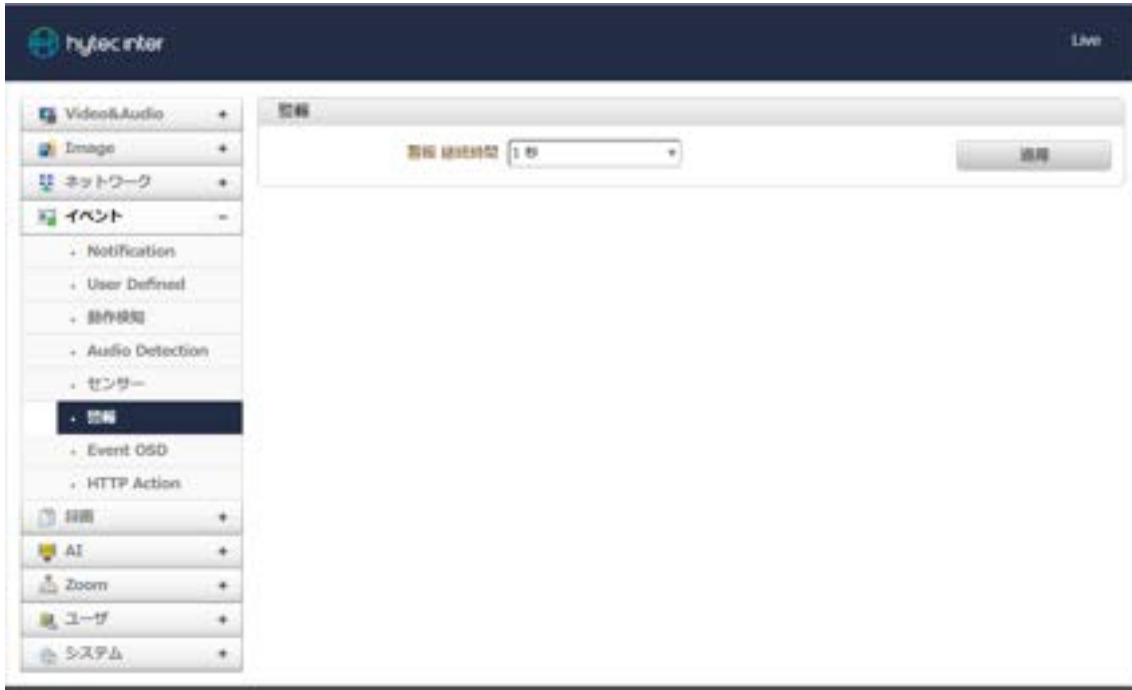
選択 センサー Off センサー On

センサー 1

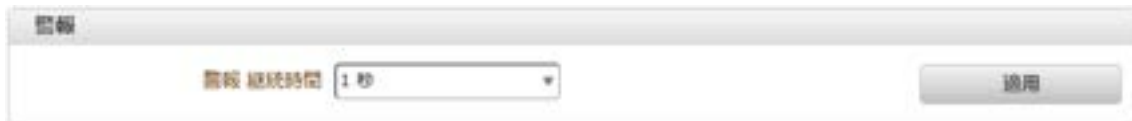
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
選択	センサー Off (無効)またはセンサー On (有効)を選択します。
センサー 1	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

5.4.6 警報



- 警報

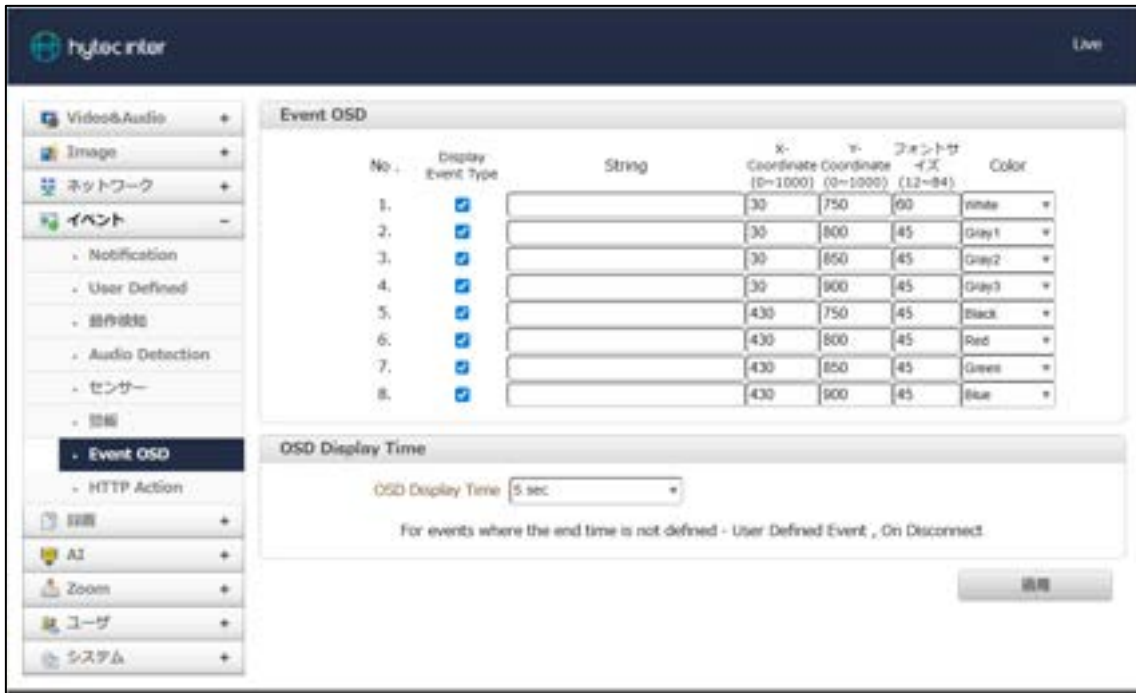


表示	説明
警報 1 継続時間	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。

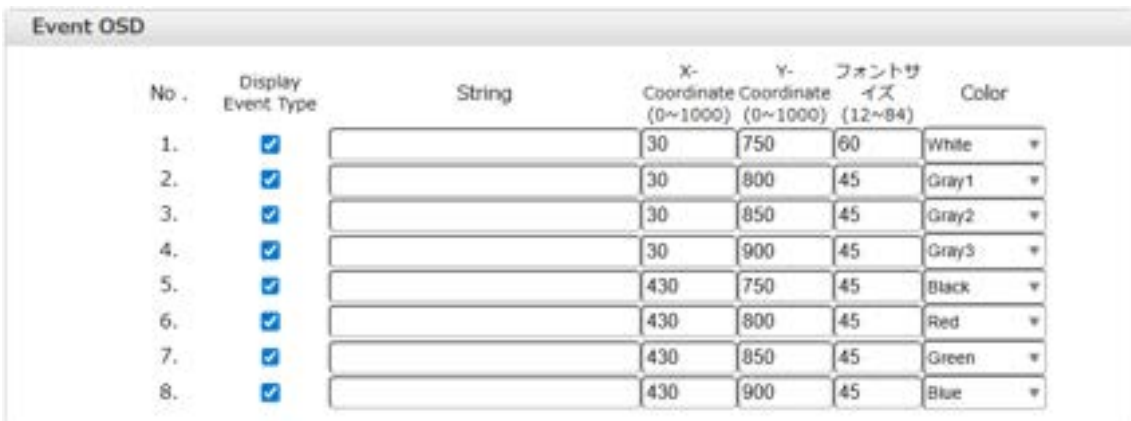
Duration について

表示	説明
同期	関連付けたイベントが発生している間、アラーム回路を作動させます。
1,5,10,30,60 秒	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、アラーム回路を作動し続けます。
連続	手動で止めるまで、アラーム回路を作動させます。

5.4.7 Event OSD



- Event OSD



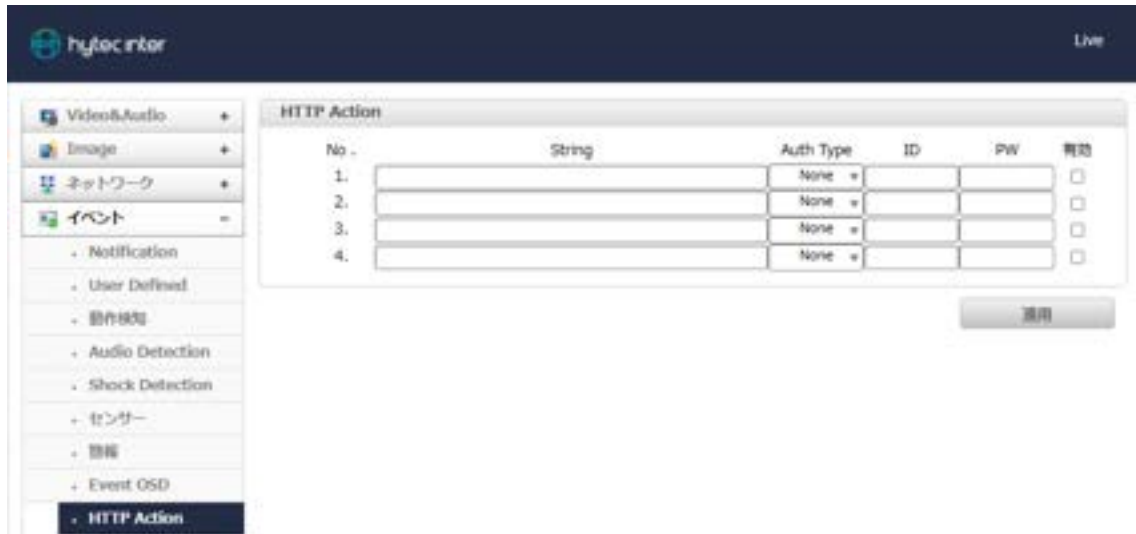
表示	説明
Display Event Type	String で設定した文字列の前に、イベントタイプを挿入する場合はチェックを入れます。
String	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。 最大 63 文字(日本語は最大 21 文字) 英数記号(¥のみ使用不可)、日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)は使用可能
X-coordinate	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 [0-1000]
Y-Coordinate	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。

	[0-1000]
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。[12-84]
Color	フォントの色を設定します。

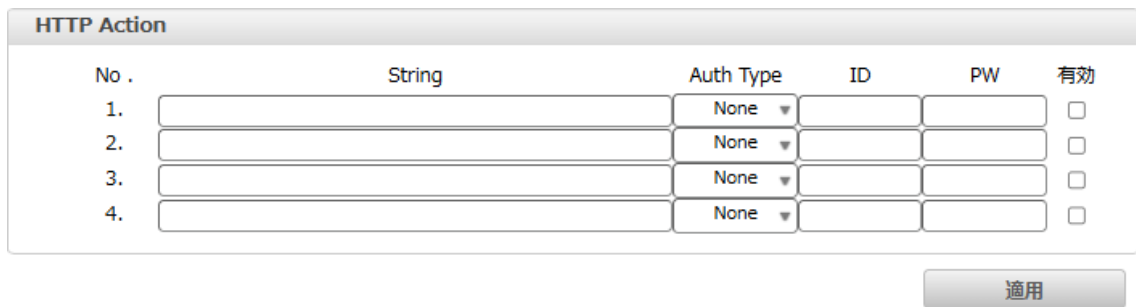
- OSD Display Time

表示	説明
OSD Display Time	OSD を表示し続ける時間を設定 該当イベント: ユーザ定義イベント

5.4.8 HTTP Action



- HTTP Action



表示	説明
String	HTTP API の命令を入力します。
Auth Type	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。
ID	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
PW	ログイン時に使用するパスワードを入力します。
有効	入力した命令の有効/無効を設定します。

5.5 録画

Setup メニュー画面から“録画”タブをクリックします。



➤ 録画メニュー

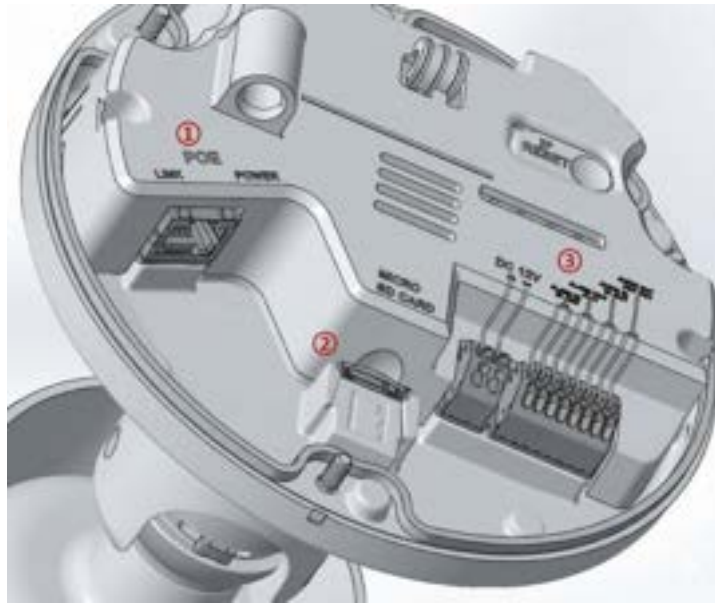
表示	説明
全般	録画全般の設定を行います。
Schedule	録画に関するスケジュール設定を行います。
ディスク情報	録画用の SD カードの情報を確認できます。
検索ページ	録画データの検索を行います。

5.5.1 Micro SD カード差し込み

Micro SD カードは付属していませんので、別途ご用意ください。

図の②に差込口があります。

Micro SD カードの向きに注意して挿入してください。



5.5.2 全般

● 基本設定

表示	説明
録画をする	録画の有効・無効を選択します。 無効から有効にした場合、カメラが再起動します。 録画機能を使用する場合は、カメラの時刻設定が完了した後に有効にしてください。 MicroSD のフォーマットを行ってからご使用ください。
ビデオ選択	録画するストリームを選択してください。
Manual Record	On: 常時録画をおこなう場合に選択してください。 Off: スケジュール録画をおこなう場合に選択してください。 ※スケジュール録画は 5.5.3 章を参照してください。
上書き	MicroSD カードの保存容量がいっぱいになった時の挙動です。 On: 古いファイルを削除して上書き録画を行います。 Off: 上書き録画をおこなわず、録画停止します。
最大保存容量	録画ファイルのサイズ上限を設定します。
Max File Length	録画ファイルの録画時間上限を設定します。
Record File Format	録画ファイルの形式を設定します。 AVI、MP4 が選択可能です。 ビデオ選択の形式によって未サポートの形式があるため、ご注意ください。
自動で FTP にバックアップ	録画ファイルを FTP でサーバに転送する機能です。 使用する際は設定を On にし、5.3.11 の FTP の設定を行ってからご使用ください。

5.5.3 Schedule



- イベントタイプ

表示	説明
イベントタイプ1~4	イベントによる録画の有効・無効の設定を行います。 ※Vehicle Speed、ANPR は未サポートのためご利用になれません。
イベント前録画時間	イベント発生前の録画時間の設定を行います。
イベント後録画時間	イベント発生後の録画時間の設定を行います。

- スケジュール表

表示	説明
スケジュール表	録画のスケジュール設定を行います。

5.5.4 ディスク情報



- ディスク情報

表示	説明
ディスク情報	MicroSD カードが録画可能か、フォーマットが必要か等のステータス情報を表示します。
ディスク容量	MicroSD カード全体の容量を表示します。
空き容量	残りの録画可能容量を表示します。
Auto Refresh	ディスク情報の更新を 60 秒ごとに自動で行います。
Refresh	ディスク情報の更新をクリックしたタイミングで行います。
Disk Format	MicroSD カードの初期化を行います。

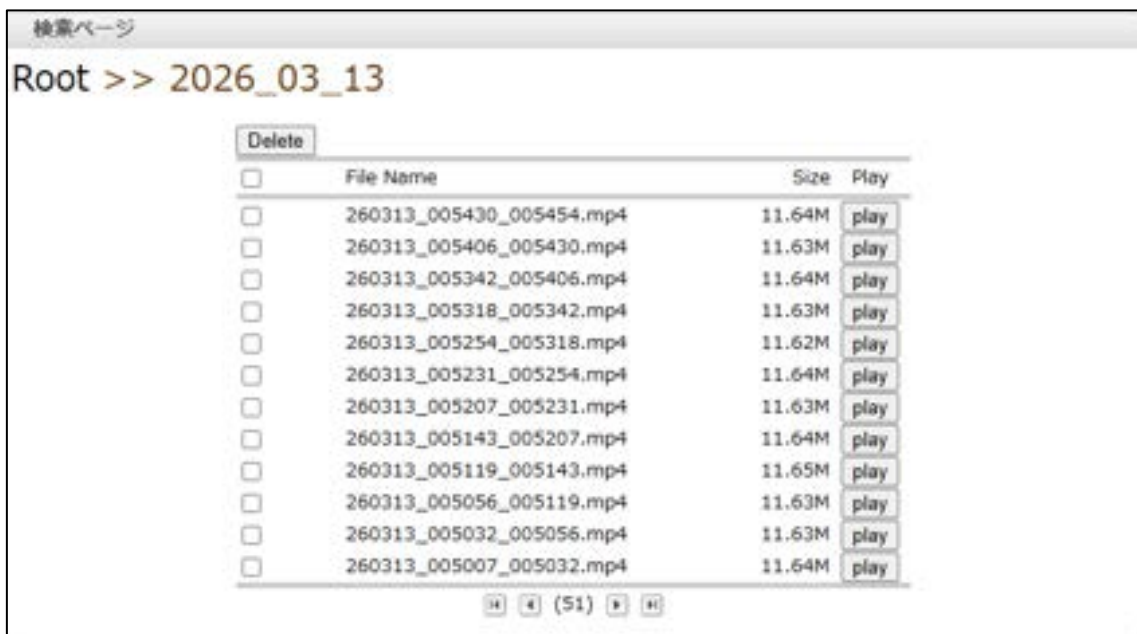
5.5.5 検索ページ



● 検索ページ

表示	説明
日付 形式:YYYY_MM_DD	録画がある日付のリンクを表示します。
	日付のリンクが 1 ページに収まらなかったときに、別のページに移動します。

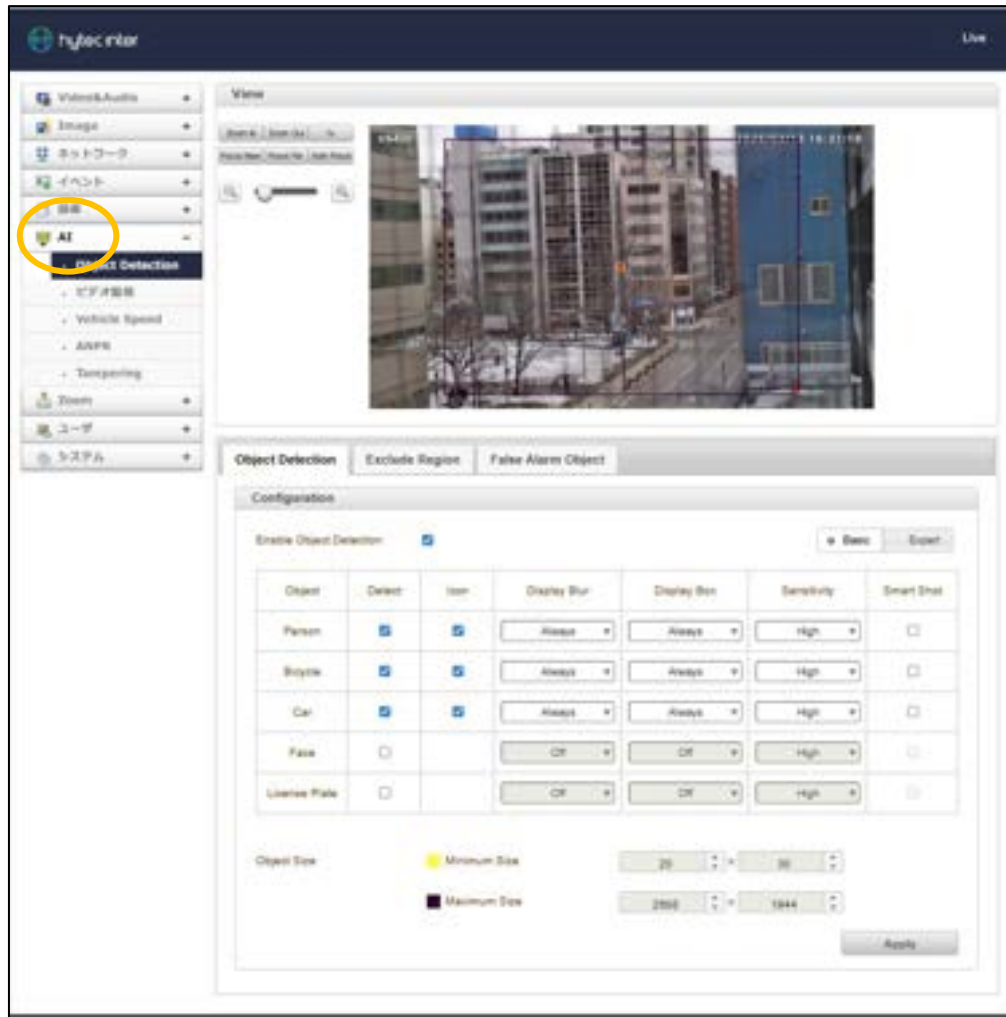
● 検索ページ(日付リンク内)



表示	説明
Delete	チェックをいれた録画ファイルを削除します。
File Name	録画ファイル名を表示します。 クリックするとダウンロード可能です。
Size	録画ファイルのサイズを表示します。
Play	録画ファイルをダウンロードせずに視聴可能です。 ※MP4 限定の機能です。
	録画ファイルのリストが 1 ページに収まらなかったときに、別のページに移動します。

5.6 AI

Setup メニュー画面から”AI”タブをクリックします。



➤ AI メニュー

表示	説明
Object Detection	オブジェクト検出のタイプ（人、自転車/バイク、車、顔）を選択します。
ビデオ監視	カメラのリアルタイムでの撮影、映像の監視、録画機能の設定を行います。
Vehicle Speed	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
ANPR	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Tampering	カメラにカバー等で多いがかけられたときに異常を検知する設定を行います。

5.6.1 Object Detection

The screenshot shows the HIC-TRB400 software interface. On the left is a sidebar menu with categories like Video&Audio, Image, ネットワーク, イベント, 検索, AI, Object Detection, and others. The main area is divided into a 'View' section showing a live video feed with a red bounding box around a detected object, and a 'Configuration' section below it. The configuration section has tabs for 'Object Detection', 'Exclude Region', and 'False Alarm Object'. The 'Object Detection' tab is active, showing a table of settings for various object types.

Configuration

Enable Object Detection Basic Expand

Object	Detect	Icon	Display Blur	Display Box	Sensitivity	Smart Shot
Person	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	OF	Always	High	<input type="checkbox"/>
Boycle	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	OF	Always	High	<input type="checkbox"/>
Car	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	OF	Always	High	<input type="checkbox"/>
Face	<input type="checkbox"/>		OF	OF	High	<input type="checkbox"/>
License Plate	<input type="checkbox"/>		OF	OF	High	<input type="checkbox"/>

Object Size:
 Minimum Size: 25 x 30
 Maximum Size: 2555 x 1544
 Apply

- Object Detection

Object	Detect	Icon	Display Blur	Display Box	Sensitivity	Smart Shot
Person	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Off	Always	High	<input type="checkbox"/>
Bicycle	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Off	Always	High	<input type="checkbox"/>
Car	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Off	Always	High	<input type="checkbox"/>
Face	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Off	Off	High	<input type="checkbox"/>
License Plate	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Off	Off	High	<input type="checkbox"/>

Object Size

Minimum Size: 20 x 30

Maximum Size: 2560 x 1944

Apply

表示	説明
Enable Object Detection	カメラが特定の物体を検知する機能を有効にする設定です。有効にする場合は、チェックを入れてください。
Object	カメラが特定の物体(車、人、自転車、顔)を検知するための設定を行います。※License Plate は未サポートのためご利用になれません。
Detect	検知オブジェクトの有効・無効を設定します。
Icon	検知したオブジェクトにアイコンを付与します。
Display Blur	検知したオブジェクトをぼかして表示します。複数オブジェクトが重なった場合にはほかのオブジェクトの表示に影響を与える場合がございます。
Display Box	検知したオブジェクトの周りに Box を表示します。
Sensitivity	High(デフォルト値)のままご使用ください。
Smart Shot	Live 画面の Smart Shot 機能の有効・無効を設定します。
Object Size	カメラが検知する物体のサイズの設定を行います。

※ 本機の AI 機能を有効にした場合、ONVIF Profile M に対応していない NVR との接続はできなくなる可能性があります。

※ 画像右上の「Basic」と「Expert」はデフォルトの「Basic」のままご使用ください。

- Exclude Region

Region 1	Region 2	Region 3	Region 4
Not Configured	Not Configured	Not Configured	Not Configured
Region 5	Region 6	Region 7	Region 8
Not Configured	Not Configured	Not Configured	Not Configured

表示	説明
Enable Region	カメラの映像内でエリアを指定し、そのエリア内での物体検知を除外することができます。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
Configure Region	カメラの映像内で特定のエリアの物体検知除外を行うことができます。 Edit: 設定した検知エリアの編集ができます。この機能を使用すると、すでに設定したエリアの形状やサイズを変更したり新しいエリアを追加することができます。 Remove: 設定した検知エリアの削除ができます。 検索: 本機能は未サポートのためご利用になれません。
Display Region	映像ストリーム上に設定したエリアを表示させるかどうかを選択します。
Region Type	除外するエリアの形状や種類の設定を行います。 Region: カメラ映像解析において不要なエリアを効果的に除外し、誤検出を減らすことができます。 Spot: 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Object	カメラが除外する物体(車、人、自転車)の設定を行います。

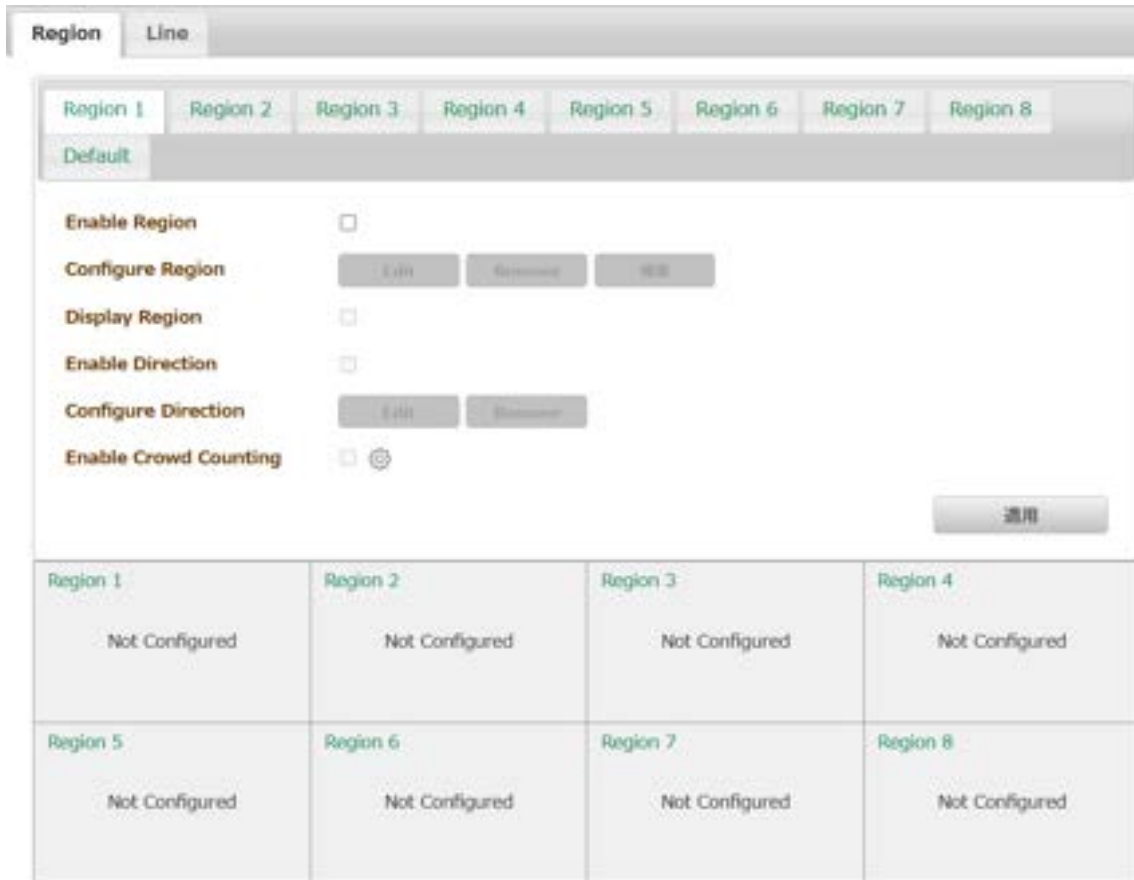
- False Alarm Object

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

5.6.2 ビデオ監視

The screenshot displays the 'hytec inter' software interface. On the left is a sidebar with various menu items including 'Video&Audio', 'Image', 'ネットワーク', 'イベント', '設定', 'AI', 'Zoom', 'ユーザ', and 'システム'. The 'AI' section is expanded to show 'ビデオ監視' (Video Monitoring) as the active option, along with 'Object Detection', 'Vehicle Speed', 'ANPR', and 'Tampering'. The main window is titled 'View' and shows a live video feed of a city street with green and blue detection markers. Below the video feed is a configuration panel with 'Region' and 'Line' tabs. The 'Region' tab is active, showing settings for 'Region 1' through 'Region 8' and a 'Default' option. The settings include checkboxes for 'Enable Region', 'Enable Direction', and 'Enable Crowd Counting', along with 'Configure Region' and 'Configure Direction' buttons. An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area. Below the configuration area is a grid of eight small video thumbnails, each labeled with a region number (Region 1 to Region 8) and the text 'Not Configured'.

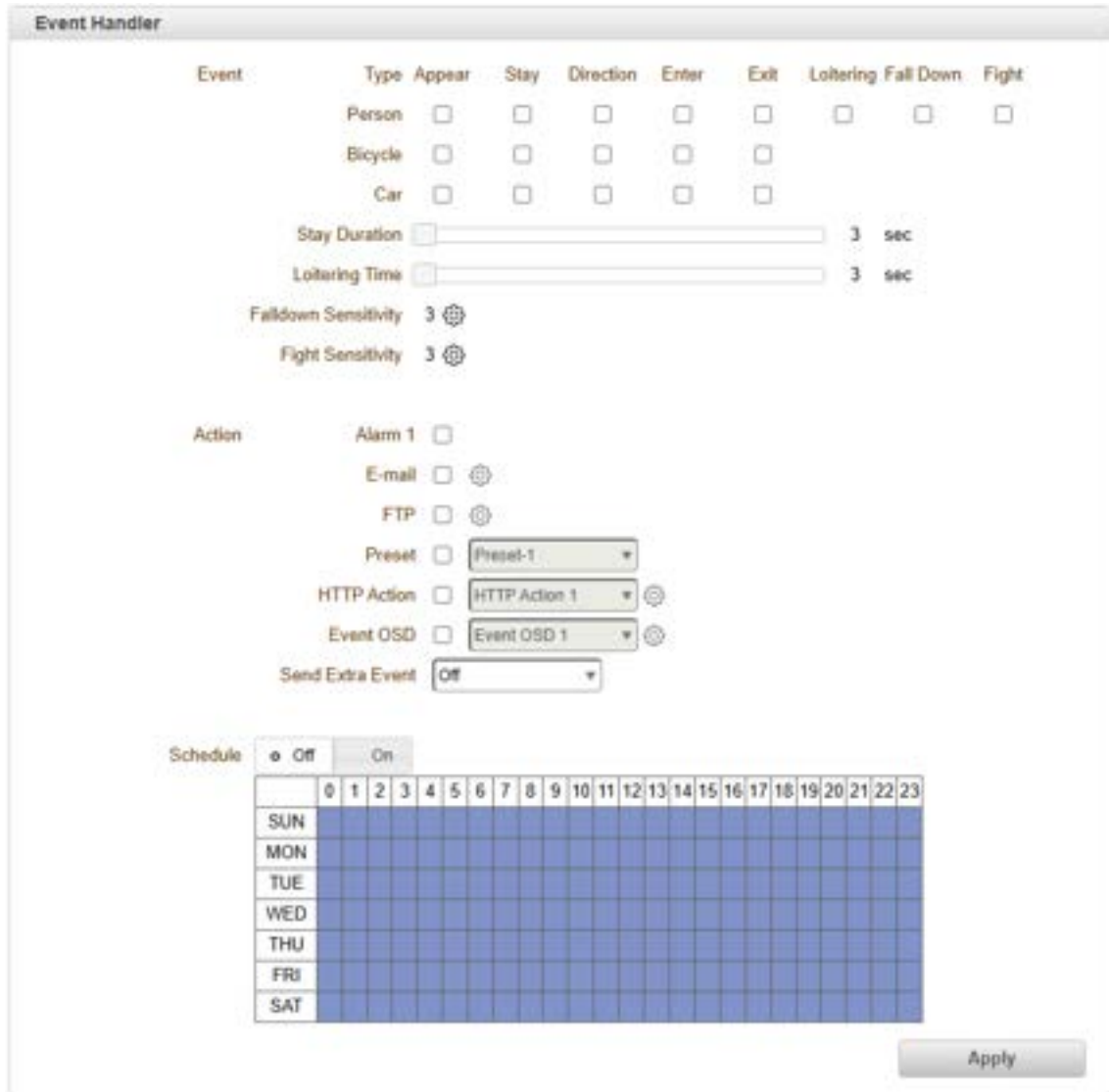
● Region



表示	説明
Enable Region	映像をリアルタイムで監視・解析をする設定を行います。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
Configure Region	カメラの監視エリア内で、特定の領域を指定する設定を行います Edit: 監視エリアや検出ゾーンの詳細設定をすることができます。 Remove: 設定した監視エリアや検出ゾーンを削除することができます。 検索: 本機能は未サポートのためご利用になれません。
Display Region	映像ストリーム上に設定したエリアを表示させるかどうかを選択します。
Enable Direction	特定の方向に対する動体検知の設定を行います。 この機能を使用することで、指定した方向に動くオブジェクトによる、解析やアラームの発生ができます。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
Configure Direction	「Enable Direction」の方向を設定することができます。 Edit: 検知対象オブジェクトの移動方向設定をすることができます。 Remove: 設定した方向の削除がおこなえます。

Enable Crowd Counting	特定の領域の混雑状況の設定を行います。
------------------------------	---------------------

● Event Handler



イベント

表示	説明
Type (対象)	検出する対象を表します。 Person: 人 Bicycle: 自転車 Car: 車
Type (イベント)	検出するイベントの設定を行います。 イベントを検出する場合、チェックを入れてください。 Appear (出現): カメラの視野内に新しい物体や人物が現れた場合にイベントが発生します。 Stay (滞在): 特定のエリア内に、一定時間以上滞在する物体や人物を検出します。 Direction (方向): 特定の方向に移動する物体や人物を検出します。 (例えば、逆走する車などの検出に使用されます。)

	<p>Enter (侵入): 指定されたエリアに物体や人物が入った場合に、イベントが発生します。</p> <p>Exit (退出): 指定されたエリアから物体や人物が出た場合に、イベントが発生します。</p> <p>Loitering (徘徊): 特定のエリア内で、一定時間以上徘徊する物体や人物を検出します。 (防犯対策として使用されます。)</p> <p>※Fall Down (転倒)、Fight (喧嘩)は未サポートとなります。</p>
Stay Duration	<p>特定のエリア内で物体が滞在する時間を計測することができます。 滞在時間の設定を行うと、設定した時間を超えた場合、Actionで設定した機能が実行されます。(1~600 sec)</p>
Loitering Time	<p>特定のエリア内で一定時間以上滞在する物体を検出することができます。 滞在時間の設定を行うと、設定した時間を超えた場合、Actionで設定した機能が実行されます。(1~600 sec)</p>
Falldown Sensitivity	<p>本機能は未サポートのため、ご利用になれません。</p>
Fight Sensitivity	<p>本機能は未サポートのため、ご利用になれません。</p>

アクション

表示	説明
警報 1	<p>特定のイベントが発生した場合、アラームが作動します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。</p>
E-メール	<p>特定のイベントが発生した場合、自動的にメールが送信されます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。</p>
FTP	<p>特定のイベントが発生した場合、画像や動画を FTP サーバに自動的にアップロードします。 有効にする場合は、チェックを入れてください。</p>
プリセット	<p>特定のイベントが発生した場合、カメラが事前に設定されたズーム倍率とフォーカスの設定になります。 有効にする場合は、チェックを入れてください。</p>
HTTP Action	<p>特定のイベントが発生した場合、指定した URL に HTTP リクエストを送信します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。</p>
Event OSD	<p>特定のイベントが発生した場合、カメラの映像上にテキスト情報 (イベントの種類など) を表示します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。</p>

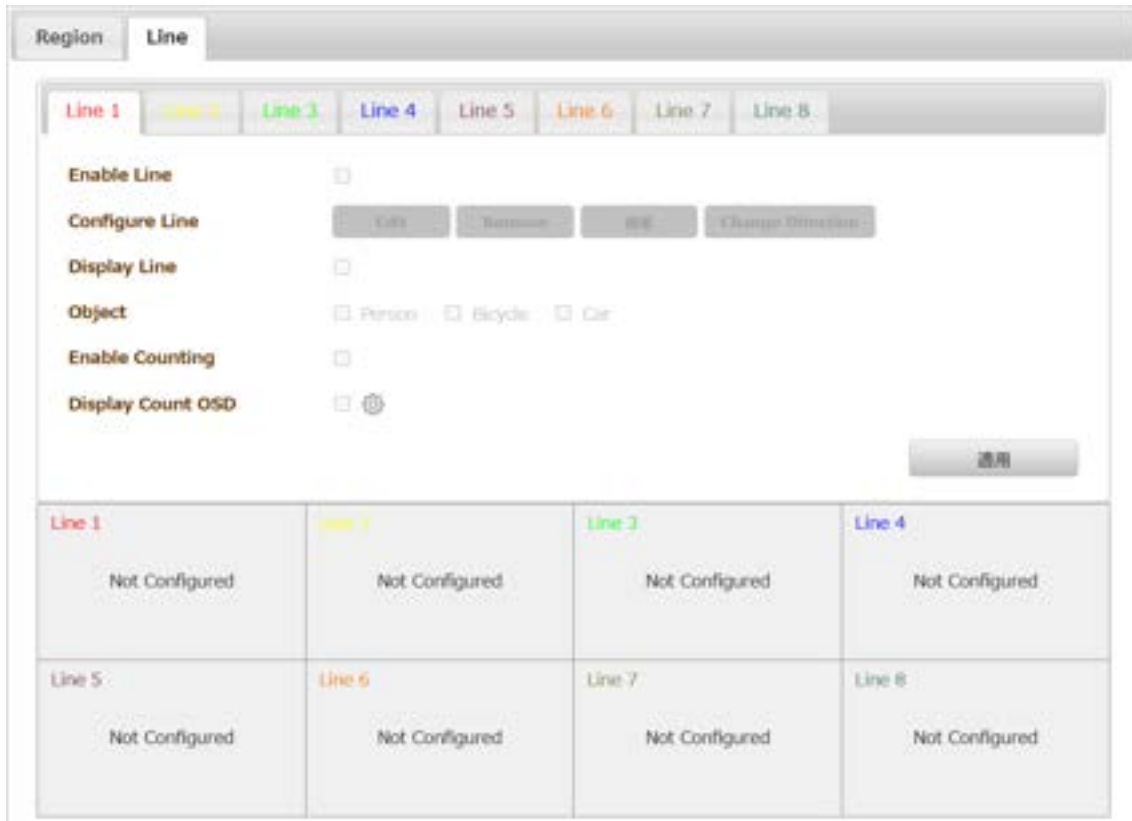
Send Extra Event

表示	説明
Off	Send Extra Event 機能が無効になります。
動作検知	Send Extra Event 機能が有効になります。 AI 解析メタデータ非対応の機器に本機能の検出を通知したい場合に、動作検知としてイベント通知をおこなう機能となります。

スケジュール表

表示	説明
Off/On	特定のイベントやアクションが実行される時間帯や、曜日の設定を行います。

● Line



表示	説明
Enable Line	特定のライン(仮想線)を超える動きを検出する機能です。 この機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
Configure Line	特定のライン(仮想線)を設定する事ができます。 Edit: 仮想ラインの設定や調整を行うことができます。 Remove: 設定されている仮想ラインを削除することができます。 検索: 本機能は未サポートのため、ご利用になれません。 Change Direction: 人や車両が仮想ラインをどの方向に超過するかの向きを変更する機能です。
Display Line	カメラの映像上に、仮想ラインを表示することができます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
Object	検出する対象の設定を行います。 Person: 人 Bicycle: 自転車 Car: 車
Enable Counting	特定のライン(仮想線)を越えた人や車両の数をリアルタイムでカウントすることができます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
Display Count OSD	カメラの映像上にリアルタイムでカウント情報を表示することができます。

	有効にする場合は、チェックを入れてください。
--	------------------------

● Event Handler

表示	説明
アクション	前項 (Region > Event Handler)の説明を参照してください。
Send Extra Event	
スケジュール表	
Reset	個別のラインカウントをリセットします。
Reset All	すべてのラインのオブジェクトカウントを一括リセットします。
Daily reset	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

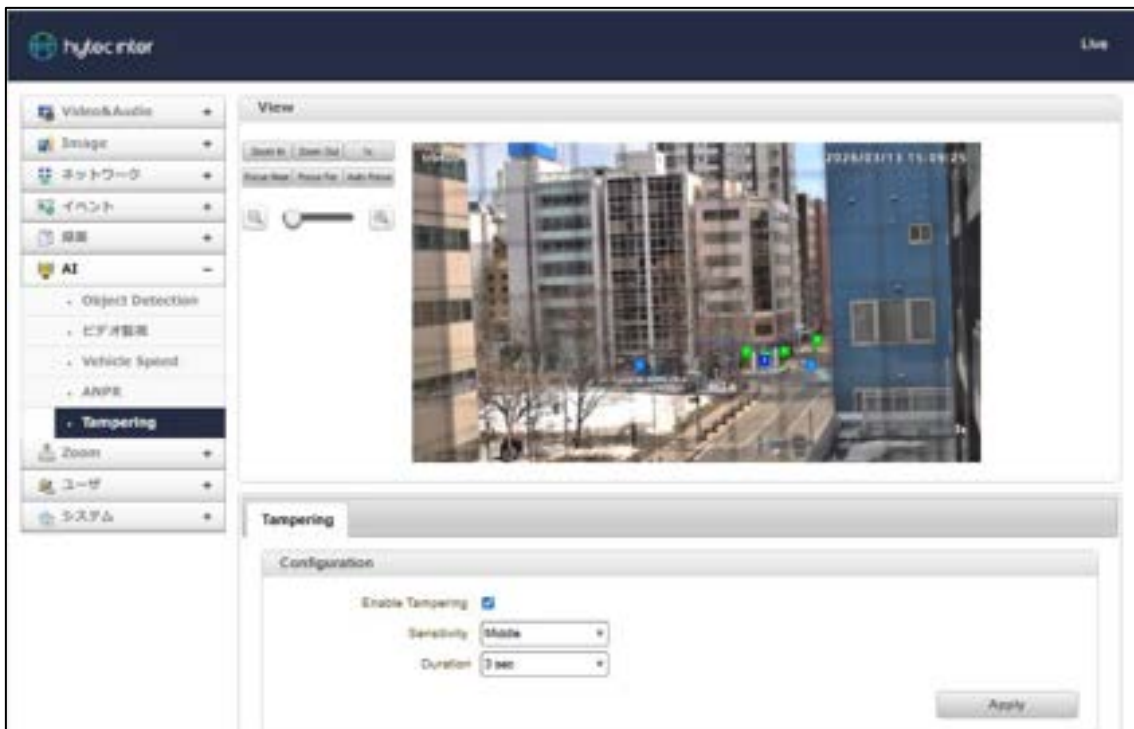
5.6.3 Vehicle Speed 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



5.6.4 ANPR 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



5.6.5 Tampering



- Configuration



表示	説明
Enable Tampering	カメラが物理的に視界を遮られ場合にアラームを発する機能です。有効にする場合は、チェックを入れてください。
Sensitivity	アラームを発する感度の設定を行います。
継続時間	アラームを発するまでの時間の設定を行います。

※Event Handler の設定については、5.6.1 章 Object Detection を参考にしてください。

5.7 Zoom

Setup メニューの”Zoom”タブをクリックします。

➤ PTZ メニュー



表示	説明
プリセット	プリセットの設定を行います。
Advanced	再起動した際のズーム状況、ズーム倍率 OSD 表示等を設定します。
External PTZ	PTZ カメラとの連携動作の設定をおこないます。

5.7.1 プリセット



● プリセット

表示	説明
プリセット番号選択	プリセット番号を選択します。(Preset-1~500)
設定	選択したプリセット番号に現在のズーム倍率を設定します。
設定位置へ移動	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットのズーム倍率に倍率を変更します。
消去	選択したプリセットを削除します。
Focus Mode	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 どの設定を選んでも Auto Focus として動作します。
ラベル修正	プリセットにラベルを割り当てます。

5.7.2 Advanced



● Advanced



表示	説明
Max Zoom Speed	カメラのズーム操作を行う際の、速度の設定を行います。 数値が大きいほど、ズーム動作が速くなります。
Display PTZ Action	Zoom のプリセット操作をおこなった際の OSD 表記の設定を行います。 Off:カメラの Zoom のプリセット操作が行われても、その動作は画面上に表示されません。 Auto:カメラの Zoom のプリセット操作が行われたときに動作を一定時間表示します。 On:カメラの Zoom のプリセット操作が行われるたびに、その動作がリアルタイムで画面上に表示されます。

Display Zoom Magnification	カメラの光学ズーム倍率を OSD 表示する機能です。 有効にする場合は、On にしてください。
Power Up Action	カメラ起動直後のズーム設定ができます。
Auto Focus after Zoom Control	本機能は未サポートのためご利用になれません。
One Shot AF after Zoom	本機能は未サポートのためご利用になれません。
Lens Offset Adjust	レンズのオフセット微調整機能です。
Motion Detection and Tampering disable on PTZ	ズーム操作中に動体検知と Tampering 検知機能を一時的に無効にする機能です。この設定により、誤検知が発生するのを防ぎます。 有効にする場合は、On にしてください。

5.7.3 External PTZ

外部 PTZ カメラと連動する機能です。

本カメラで動体検知および AI 検知した画角に PTZ カメラの画角を向けることができます。

対応している PTZ カメラで本機能をご使用ください。

ご使用の際には PTZ カメラの HTTP API 認証を OFF に設定してください。

The screenshot displays the 'hytec nter' web interface with a 'Live' indicator in the top right corner. A left-hand navigation menu includes options like Video&Audio, Image, ネットワーク, イベント, 録画, AI, Zoom, プリセット, Advanced, External PTZ (highlighted), ユーザ, and システム.

The main content area is divided into three sections:

- PTZ Camera Information:** Contains input fields for IP Address, HTTPポート (80), and 番ポート (2222), with a '適用' button.
- PTZ Calibration:** Includes a video feed of a city street with a grid overlay and four calibration points. Below the feed are '設定' and 'Check' buttons for each point. A 'PTZ Camera Viewer' button is also present.
- Action:** A configuration panel with various settings:
 - Use PTZ Linkage: On
 - Centering: Off
 - Auto Mode: AI Based
 - Use PTZ Auto Tracking: On
 - Tracking Target: Car (checked)
 - View Size: Middle
 - Zoom: Off
 - Zoom Limit: x3
 - Control Time: 30 sec
 - Reset Position on PTZ: None

- PTZ Camera Information

PTZ Camera Information

IP Address

HTTPポート (80, 1025~65535)

基本ポート (1025~65535)

表示	説明
IP Address	連動させる PTZ カメラの IP アドレスを入力します。
HTTP ポート	デフォルトでご使用ください。
基本ポート	デフォルトでご使用ください。

- PTZ Calibration

PTZ Calibration

For each calibration point, move center of PTZ camera to the same point and press 'Set'



Calibration Point #1

Calibration Point #2

Calibration Point #3

Calibration Point #4

【PTZ Camera Viewer】



表示	説明
PTZ Camera Viewer	「PTZ Camera Information」で設定した PTZ カメラの View と PTZ コントローラを別ウィンドウで表示します。 PTZ コントローラで画角が変更できます。
Calibration Point #1 - 4	設定: PTZ の画角を設定します。 Check: 設定で保存した画角に PTZ が移動するかを確認できます。

- Action

表示	説明
Use PTZ Linkage	PTZ カメラとのリンクの有効・無効を設定します。
Centering	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Auto Mode	PTZ に信号を送るときのトリガーを設定します。 Off: 本カメラの検知では PTZ に信号を送りません。 Motion based: モーション検知時に PTZ に信号を送ります。 AI Based: AI 検知時に PTZ に信号を送ります。

【Auto Mode: Motion based】

表示	説明
Zoom Enable at Auto	PTZ カメラの Zoom の有効・無効を設定します。
Max Zoom Limit	PTZ カメラの Zoom の最大値を設定します。
Pause Duration at Auto	デフォルトの「0」のままご使用ください。

【Auto Mode: AI Based】

Auto Mode	Off	Motion based	● AI Based
Use PTZ Auto Tracking	On ▼		
Tracking Target	<input type="checkbox"/> Person	<input type="checkbox"/> Bicycle	<input checked="" type="checkbox"/> Car
View Size	Middle ▼		
Zoom	Off ▼		
Zoom Limit	x3 ▼		
Control Time	30 sec ▼		
Reset Position on PTZ	None ▼		

表示	説明
Use PTZ Auto Tracking	トラッキングの信号するカメラの設定を行います。 Off: 本機の設定を使用します。 On: 連動した PTZ の設定を使用します。
Tracking Target	トラッキング対象を選択できます。
View Size	デフォルトの「Middle」のままご使用ください。
Zoom	PTZ カメラの Zoom の許可を設定します。
Zoom Limit	PTZ カメラの Zoom の最大値を設定します。
Control Time	トラッキングの追尾時間を設定します。
Reset Position on PTZ	トラッキングしていないときの PTZ の位置を設定します。

5.8 ユーザ

Setup メニュー画面の”ユーザ”タブをクリックします。



➤ ユーザメニュー

表示	説明
ユーザリスト	ユーザの登録/削除/変更を行います。 最大 16 ユーザ登録可能。(admin 含む)
ログインポリシー	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※上記の User 設定は、admin 権限レベルのユーザのみ設定できます。

5.8.1 ユーザリスト



- ユーザリスト



表示	説明
ID	ユーザの ID を表示します。
ユーザー権限レベル	ユーザの権限レベルを表示します。
追加	<p>新しいユーザを追加するための画面が表示されます。 追加したい ID とパスワードを入力し、権限レベルを選択してください。</p> <p>Admin: 管理者権限が付与されます。 管理者権限を持つユーザは、カメラのすべての操作や設定を行うことができます。</p> <p>Manager: 管理者に次ぐ、高い権限が付与されます。 ユーザ設定を除く、すべての操作や設定を行うことができます。</p> <p>User: ユーザに基本的な操作権限が付与されます。 ライブ映像の視聴、映像の録画・再生、PTZ 操作を行うことができます。</p> <p>Guest: 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。</p>

削除	選択されたユーザが、削除されます。
パスワード変更	選択されたユーザのパスワードを変更することができます。
ユーザ権限変更	選択されたユーザの権限レベルを変更することができます。

- ユーザ追加（新規登録）

表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1～15 文字、英数字
パスワード	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※2～15 文字、英数記号（“=”、“<”、“>”、“?”は使用不可）
パスワード確認	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
ユーザ権限レベル	ユーザの権限レベルを選択します。

5.8.2 ログインポリシー



- ログインポリシー



表示	説明
認証方式	HTTP 認証方式の基本認証(Basic)またはダイジェストアクセス認証(Digest)から選択します。

- 認証



表示	説明
RTSP 認証	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を行う際に、パスワード認証を要求します。 初期値: On
HTTPAPI 認証	On に設定すると、HTTP API にて操作する際に、パスワード認証を要求します。 初期値: On

- Login Failure Process



表示	説明
Number of Login failures Allowed	<p>ログイン失敗の許容回数を設定します。</p> <p>No limit(無制限)を選択した場合は、何回失敗してもブロックされません。1、2、3、4、5、10 を選択した場合は、失敗の許容回数を超えるとブロックされます。ブロックされた場合、一定の時間ログインできなくなります。</p> <p>【例】</p> <p>3 を選択した場合、3 回連続で失敗しても 4 回目で成功すればログインできます。4 回連続で失敗した場合ブロックされます。</p>

5.9 システム

Setup メニュー画面の”システム”タブをクリックします。



➤ システムメニュー

表示	説明
Information	現在の機器情報の表示を行います。
Upgrade&Reboot	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
時刻	現在の日時設定を行います。
OSD	システム名や日時の画面表示設定を行います。
言語	表示される言語設定を行います。
Log	ログの表示と保存を行います。

5.9.1 Information



- System Information



表示	説明
モデル	モデル名を表示します。
バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Image Version	現在のイメージバージョンを表示します。

Zoom Module Version	現在のズームモジュールのバージョンを表示します。
ONVIF Version	現在の ONVIF のバージョンを表示します。
OpenSSL Version	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
AI Version	現在の AI のバージョンを表示します。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
現在のアドレス	現在の IP アドレスを表示します。
ドメイン名	現在のドメイン名を表示します。
Input Power	現在のカメラに供給されている電力の情報を表示します。

5.9.2 Upgrade & Reboot



- ファームウェア



表示	説明
バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
アップグレード	[ファイルを選択]ボタンをクリックし、PC からファームウェアを選択します。 [ファームアップ]ボタンをクリックし、アップグレードを開始します。 ※アップグレード中に電源を切らないでください。 ※アップグレード後は工場出荷時設定をおこなってください。

- Config Backup & Restore

表示	説明
Backup	[Config Backup]をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
Restore	[ファイルを選択]ボタンをクリックし、Config Backup にて保存したコンフィグファイルを選択し、設定の復元をします。 [Config Restore]をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは、適用できません。
Exclude Network Config	Restore の際にコンフィグファイルのネットワーク情報を引き継がず、現在の設定を保持します。

- リポート

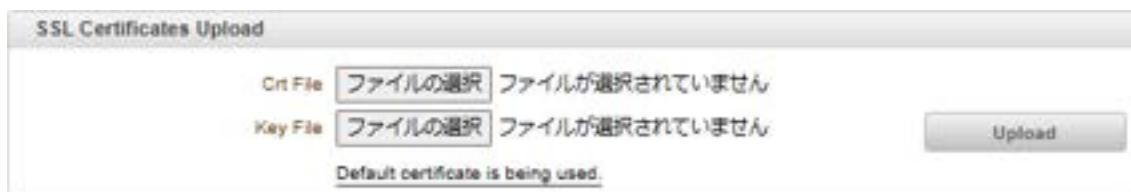
表示	説明
リポート	本機を再起動します。

- 工場出荷時設定



表示	説明
Exclusions Item	<p>[ネットワーク]、[プリセット]、[ユーザリスト]、[AI]で初期化しない設定にチェックをします。</p> <p>設定が保持されるものは、以下に記載します。</p> <p>ネットワーク: ネットワーク>IP&Port,QoS,Discovery,SNMP,DDNS, ユーザ>ログインポリシー>認証</p> <p>プリセット: PTZ >プリセット,スウィング,グループ,Advanced >Auto Parking</p> <p>ユーザリスト: ユーザ>ユーザリスト</p> <p>AI: Object Detection, ビデオ監視, Tampering</p>
工場出荷時設定	<p>Exclusions Item でチェックを入れた項目以外のすべての設定およびシステムログが初期化されます。</p> <p>チェックを入れなかった場合は完全に工場出荷時の状態に初期化されます。</p>

- SSL Certificates Upload 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。




5.9.3 時刻

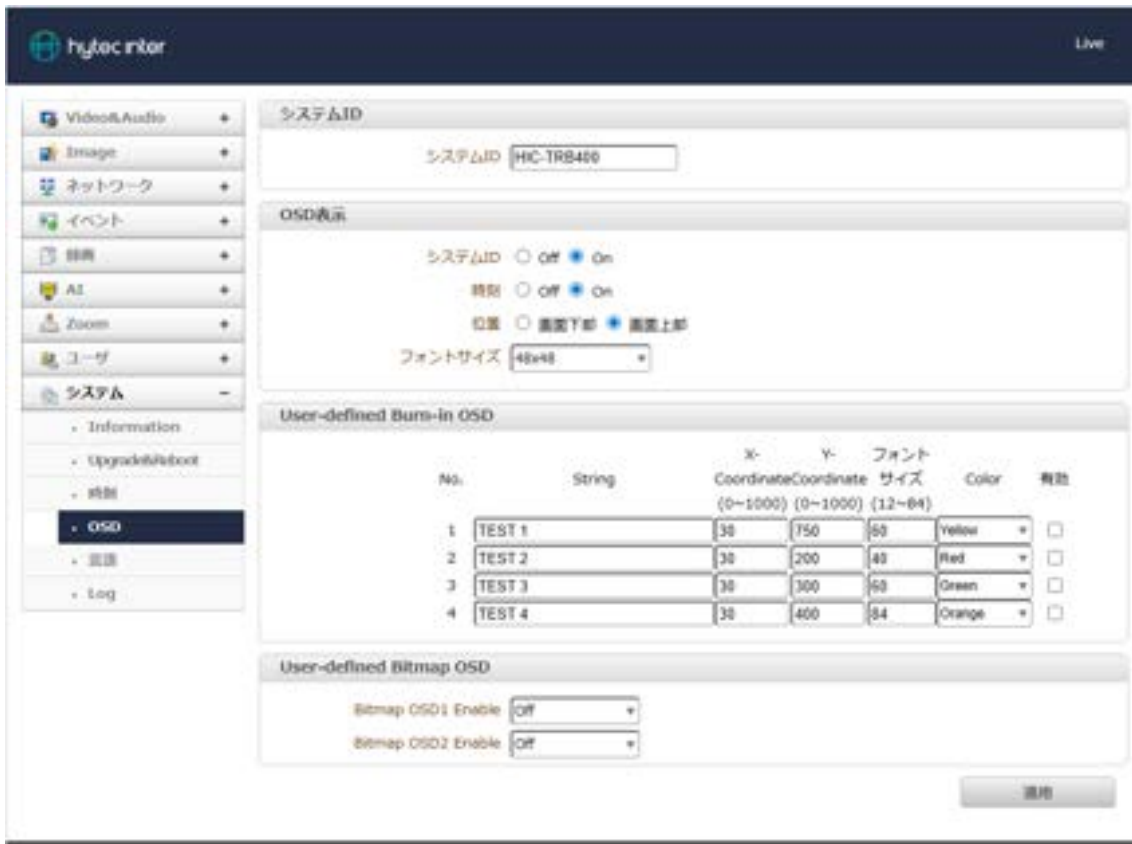


● 時刻



表示	説明
システム起動時刻	本機の起動日時を表示します。
現在時刻	本機の現在日時を表示します。
Set Time	手動で日付を表示設定できます。  をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
タイムフォーマット	日時の表示形式を選択します。
タイムゾーン	本機が取り付けられている場合のタイムゾーンを選択します。
NTP サーバ名	同期させる NTP サーバを登録します。

5.9.4 OSD



● システム ID



表示	説明
システム ID	システム ID を入力します。 ※最大半角 15 文字、全角 5 文字までです。 英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能です。

- OSD 表示

OSD表示

システムID Off On

時刻 Off On

位置 画面下部 画面上部

フォントサイズ

表示	説明
システム ID	エンコード映像にシステム ID を表示させるのか Off/On を選択します。
時刻	エンコード映像に現在日時を表示させるのか Off/On を選択します。
位置	システム ID または時刻が On の場合、表示する位置を画面下部または、画面上部から選択します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。 ※48 x 48 のみ未サポートのため、ご使用になれません。

- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coordinate (0~1000)	Y-Coordinate (0~1000)	フォント サイズ (12~84)	Color	有効
1	あいうえおかきくけこさしすせそた	10	500	12	Yellow	<input type="checkbox"/>
2	①	0	600	30	Red	<input type="checkbox"/>
3	12345678901234567890	500	800	60	Green	<input type="checkbox"/>
4	ABCDEabcde 1 2 3 4 5 _/>%	0	900	84	Blue	<input type="checkbox"/>

表示	説明
String	エンコード映像に表示したい任意の文字列を入力します。 ※最大 20 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 (0-1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 (0-1000)
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
有効	表示する場合は、Enable にチェックを入れます。

- User-defined Bitmap OSD

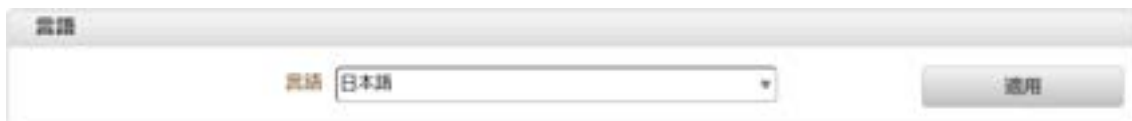
User-defined Bitmap OSD	
Bitmap OSD1 Enable	Off ▼
Bitmap OSD2 Enable	Off ▼

表示	説明
Bitmap OSD1~2 Enable	エンコード映像にビットマップを入れる場合は、On にします。 ビットマップは 2 つまで設定可能です。

5.9.5 言語



- Language

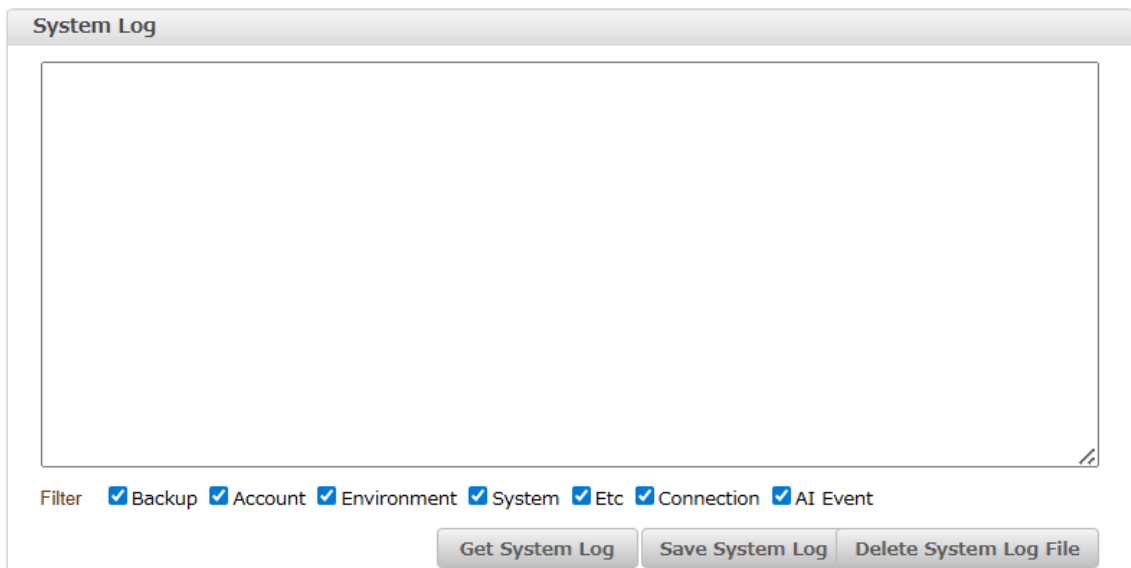


表示	説明
言語	表示言語を選択します。日本語のままご使用ください。

5.9.6 Log



- System Log



表示	説明
Filter	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
Get System Log	システムログを表示します。
Save System Log	表示されているシステムログを txt ファイルとして保存できます。

Delete System Log File

システムログを削除します。

- User Log



表示	説明
Get User Log	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
Save User Log	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
Delete User Log File	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

※「Delete User Log File」ボタンをクリックすると、以降のユーザログの記録ができなくなります。
誤ってクリックした場合はカスタマサポートまでお問い合わせください。

- Save Log Option

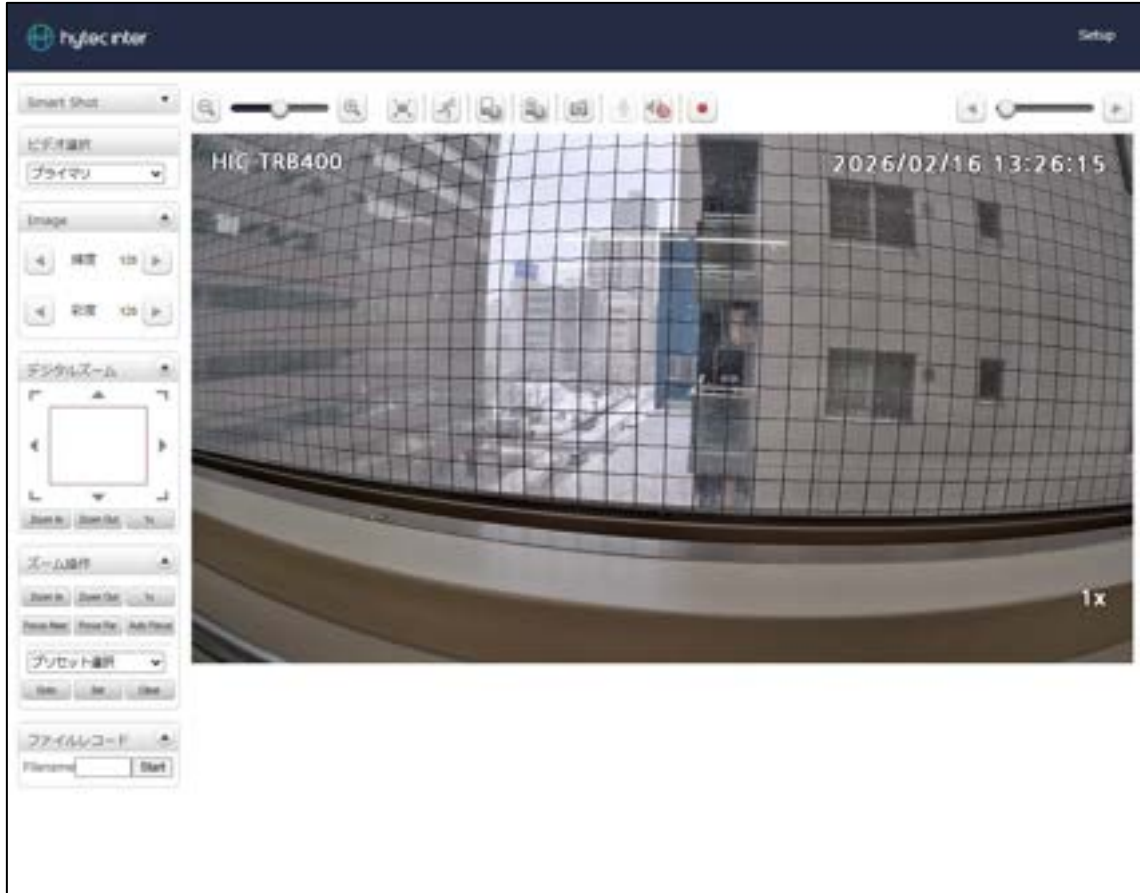
	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
AI Event	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>




表示	説明
Include	システムログに該当項目を含めます。
Exclude	システムログから該当項目を除外します。



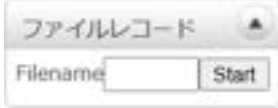









※AI Event は未サポートとなります。

6 Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



表示	説明
View 画面	エンコード映像を Web ブラウザの View 画面に表示します。
	表示する映像ストリームを選択します。 (プライマリ、セカンダリ #1-#3)
	映像の映り方の調整を行います。 輝度: 映像全体の明るさを調整します。 彩度: 映像の色の鮮やかさを調整します。
	View 画面上のデジタルズーム制御を行います。 Zoom in: 拡大します。 Zoom out: 縮小します。 1x: ワンクリックで通常サイズに戻ります。

	<p>光学 Zoom(拡大)の制御を行います。</p> <p>Zoom In : 拡大します。</p> <p>Zoom Out : 縮小します。</p> <p>1x: ワンクリックで通常サイズに戻ります。</p> <p>Focus Near : 近くに物体に焦点を合わせます。</p> <p>Focus Far : 遠くの物体に焦点を合わせます。</p> <p>Auto Focus : 自動的に焦点を合わせます。</p>
	<p>プリセットの設定を行います。</p> <p>Goto: 選択したプリセット状態のズームの倍率に変更します。</p> <p>Set: 現在のズーム倍率でプリセットを保存します。</p> <p>Clear: プリセットを解除します。</p>
	<p>PC のダウンロードフォルダに保存することができます。</p> <p>Filename: ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。</p> <p>ファイル名: [Filename_IPaddress_hh_mm_ss] の MKV ファイル</p>
	<p>Live 画面のスクリーンサイズを調節します。</p>
	<p>フルスクリーンになります。Esc キーで元のサイズに戻ります。</p>
	<p>Motion Detection(動体検知機能)が有効の時、設定した範囲内で動きを感知すると赤くなります。</p>
	<p>センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。</p>
	<p>HTTPS で Web サイトにアクセスして、ご使用ください。</p>
	<p>Live 画面からの音声出力の有効(左)/無効(右)を選択します。</p>
	<p>映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。</p>

7 製品仕様

製品					
製品名	HIC-TRB400				
形状	バレット				
カメラ部					
撮像素子	1/1.8" Sony CMOS Sensor				
最低被写体照度	Color: 0.01Lux(1/30sec,50IRE) BW: 0Lux(IR ON)				
赤外線 LED	照射距離: 30m				
レンズ	P-Iris(自動絞り機能) 水平画角: 106.4 度(広角) ~ 29.6 度(望遠) 垂直画角: 57.3 度(広角) ~ 16.8 度(望遠)				
ズーム	最大 30 倍 (光学 3 倍 x デジタル 10 倍 = 最大 30 倍)				
露出調整	シャッター・ゲイン・絞り				
Day & Night	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール				
シャッター速度	1/1 ~ 1/100,000				
ホワイトバランス	自動トレースホワイト/自動ホワイト/マニュアル				
ノイズ除去	自動 / マニュアル				
画質調整	明度、コントラスト、彩度				
その他	光学ズームポジション表示、プライバシーマスク(8 エリア)、 画像: 左右反転/上下反転、 OSD(カメラタイトル/ユーザ定義)、SD カード録画				
スマート機能					
基本	モーション検知、妨害検知				
スマート検出	ライン越え/エリア侵入・退出/エリア内活動、 ライン通過カウント				
アラーム関係	通知(Eメール)/OSD アラート/FTP アップロード/ プリセット/アラーム制御/録画・記録/ HTTP アクション				
DORI ※		D: 検出	O: 観察	R: 認識	I: 識別
	Wide	57m	23m	11m	6m
	Tele	291m	115m	58m	29m
ネットワーク部					
画像圧縮方式	H.264/H.265/MJPEG				

音声圧縮方式	G.711/u-law
画像サイズ	320 x 240 ~ 3840 x 2160
フレームレート	Max 30fps@ 3840 x 2160
ビットレート制御	H.264/H.265: CBR/VBR、MJPEG: VBR
プロトコル	IPv4/v6/TCP/UDP/IGMP(Multicast)/ICMP/DHCP/HTTP/ HTTPS/FTP/SNMP/SMTP/UPnP/WS-Discovery/ Zero Configuration/NTP/SRT/MPEG-TS/RTP/RTSP/ RTMP/ QoS
インタフェース規格	ONVIF (Profile S/G/M/T)
その他	オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、パスワード保護、 不正ログインロック
外部インタフェース	
エッジストレージ	Micro SD/SDHC/SDXC slot(Max:512GB)
音声	1 x 入力(mono) / 1 x 出力(mono)
イーサネット	RJ-45(10/100/1000BASE-T)
アラーム IN/OUT	センサー入力: 1 端子【無電圧接点入力(通常開/通常閉)】 アラーム出力: 1 端子【無電圧接点出力(通常開)】
一般	
電源	PoE+: IEEE802.3at
最大消費電力	20W
動作温度	-20~+60°C
動作湿度	0~90%RH(結露なきこと)
保存温度	-50~+60°C
保存湿度	0~95%RH(結露なきこと)
寸法	Φ149.7mm x 271mm(突起部含まず)
重量	1.9kg(本体のみ)
規格・認証	IK10、RoHS10 物質、VCCI Class A
防塵・防水性能	IP68
製品保証期間	1 年間
付属品	同梱物一覧を参照

※DORI 値は、カメラの解像度および画角の仕様を用い、EN/IEC 62676-4 の算出方法に基づいて導き出された理論値です。

DORI は基本的に画素密度に基づく計算値であるため、実際の現場での性能は環境条件によって異なる場合があります。

8 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

9 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL： 0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

